

# 台湾に対する意識調査 報告書

2021年12月

一般社団法人中央調査社

## 目次

調査の概要	1
問1. もっとも親しみを感じるアジアの国・地域	2
問1-1. もっとも親しみを感じるアジアの国・地域 （台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム以外）	3
問2. 台湾と聞いて思いつくこと	4
問3. これまでに台湾に行ったことがあるか	6
問3-1. これまでに台湾を訪れた回数	7
問3-2. 台湾に行った後の台湾に対する印象の変化	8
問4. 訪れたことのある地域	9
問5. 台湾に行きたいか	11
問6. 台湾に対する興味	12
問7. 台湾に対する親しみ	14
問8. 親しみを感じる理由	15
問9. 親しみを感しない理由	17
問10. 台湾に関する情報源	18
問10-1. 台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル	20
問11. 台湾に対する信頼	22
問12. 信頼できる理由	23
問13. 信頼できない理由	25
問14. 台北駐日経済文化代表処を知っているか	26
問15. 日本と台湾の関係をどう思うか	27
問16. 日本と台湾の関係は将来どうなるか	28
問17. 日本と台湾の間で最も懸念される問題	29
問18. 台湾産の果物への興味	31
問19. 自然災害等の際の日本と台湾の相互支援と双方の政府トップによる SNSを通じたメッセージ発信を知っているか	33
問20. 今年、台湾に関する報道を目にしたか	34
問20-1. 印象に残った台湾に関する報道	35
問21. 力を入れて行うべき交流の分野	37
問22. 台湾のTPP加盟への努力や主張に対する評価	39
結論	40
調査項目一覧	44
主要質問時系列グラフ（2016年～2021年）	49

◎ 調査の概要

(1) 調査目的

訪台経験や情報源、台湾に関する知識等を問うことを通じて、日本人が台湾に対してどのような意識を持っているかについて明らかにすることを目的とする。

(2) 調査対象

- ① 母集団 日本全国に居住する20歳以上89歳以下の男女
- ② 標本数 1,000人

(3) 調査方法

インターネット調査 (20-79歳)、電話調査 (80-89歳)

(4) 調査期間

インターネット調査 2021年11月16日～11月19日

電話調査 2021年11月10日～11月22日

(5) 標本構成

母集団の構成比に合わせて、下記の通り割付けを行った。

	男性							女性							合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	
北海道	2	3	4	3	4	3	2	2	3	4	4	4	4	3	45
東北	4	5	6	5	6	5	3	3	4	6	5	7	6	5	70
関東	23	26	34	29	24	24	11	22	25	32	27	24	27	16	344
中部	10	12	15	13	13	13	6	9	11	14	13	13	14	9	165
近畿	11	12	16	14	13	13	6	11	12	16	14	13	16	9	176
中国	3	4	5	4	5	4	2	3	4	5	4	5	5	4	57
四国	2	2	3	2	3	2	1	1	2	3	2	3	3	2	31
九州	6	8	9	8	10	8	4	6	8	10	9	10	9	7	112
合計	61	72	92	78	78	72	35	57	69	90	78	79	84	55	1,000

- 北海道 北海道
- 東北 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(6) 報告書を読む際の注意

インターネット調査では全ての質問への回答を必須としたため、「無回答」は電話調査のみ発生している。

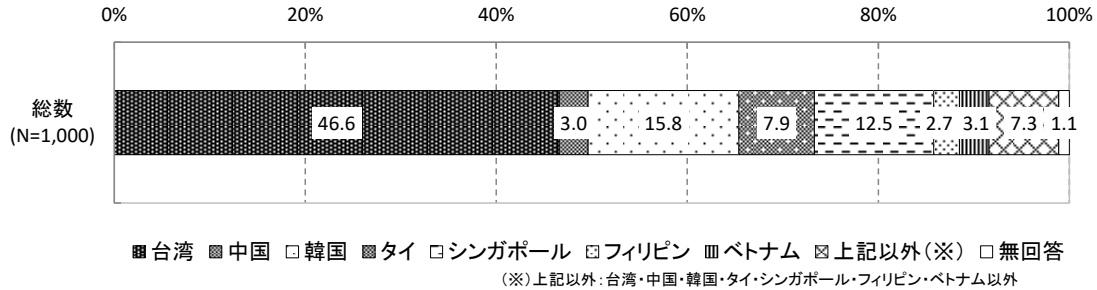
数表には参考値として2020年11月調査における回答パーセンテージを表示しているが、2020年調査と2021年調査で同一の質問および選択肢を用いたもののみ参考値を表示している。同質問だが質問文に変更があるものは2020年11月調査での質問文を注記している。

本調査における標本誤差（信頼度95%）は下表のとおりである。

N	回答割合10% または90%	回答割合20% または80%	回答割合30% または70%	回答割合40% または60%	回答割合50%
1000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
800	±2.1	±2.8	±3.2	±3.4	±3.5
600	±2.4	±3.2	±3.7	±3.9	±4.0
400	±2.9	±3.9	±4.5	±4.8	±4.9
200	±4.2	±5.5	±6.4	±6.8	±6.9

## もっとも親しみを感ずるアジアの国・地域

問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感ずるのはどこですか。(答えは1つ)



もっとも親しみを感ずるアジアの国・地域を「台湾」、「中国」、「韓国」、「タイ」、「シンガポール」、「フィリピン」、「ベトナム」、「それ以外」の中から選んでもらったところ、「台湾」と答えた者の割合が最も高く、46.6%だった。以下、「韓国」が15.8%、「シンガポール」が12.5%、「タイ」が7.9%、「ベトナム」が3.1%、「中国」が3.0%の順となっている。

なお、「上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム）以外」と答えた者は7.3%だった。

性別にみると、「台湾」と答えたのは男性で54.1%、女性で39.5%となっており、男性のほうが台湾にもっとも親しみを感じている割合が高い。

	総数	台湾	中国	韓国	タイ	シンガポール	フィリピン	ベトナム	上記以外(※)	無回答
総数	1,000	46.6	3.0	15.8	7.9	12.5	2.7	3.1	7.3	1.1
性別										
男性	488	54.1	3.5	7.0	10.0	11.9	3.3	2.9	6.6	0.8
女性	512	39.5	2.5	24.2	5.9	13.1	2.1	3.3	8.0	1.4
年代										
20歳代	118	37.3	5.9	29.7	10.2	7.6	3.4	1.7	4.2	0.0
30歳代	141	51.8	2.1	21.3	7.1	12.8	0.7	1.4	2.8	0.0
40歳代	182	50.0	2.2	17.0	8.2	8.2	3.3	3.3	7.7	0.0
50歳代	156	41.7	1.3	13.5	7.1	16.0	3.2	3.2	14.1	0.0
60歳代	157	54.8	1.3	9.6	7.6	13.4	1.9	3.8	7.6	0.0
70歳代	156	51.3	2.6	8.3	9.6	12.8	3.2	2.6	9.6	0.0
80歳代	90	30.0	8.9	14.4	4.4	18.9	3.3	6.7	1.1	12.2
最終学歴										
中学校	49	18.4	6.1	22.4	10.2	14.3	4.1	6.1	8.2	10.2
高等学校	308	40.6	4.9	16.9	7.1	12.7	3.2	2.9	10.1	1.6
短大・高専・専門学校	203	48.8	1.0	19.7	7.4	12.8	2.0	3.0	5.4	0.0
大学・大学院	437	53.1	2.3	12.6	8.5	11.7	2.5	3.0	6.2	0.2
職業										
事務職	183	47.5	2.2	17.5	7.7	12.6	1.1	3.8	7.7	0.0
管理職	79	53.2	0.0	7.6	8.9	15.2	6.3	2.5	6.3	0.0
専門的・技術職	130	53.1	4.6	18.5	4.6	10.8	1.5	2.3	4.6	0.0
販売・サービス職	76	28.9	2.6	26.3	13.2	6.6	2.6	6.6	13.2	0.0
技能・労務職	69	52.2	4.3	8.7	7.2	11.6	2.9	2.9	8.7	1.4
農林漁業	11	36.4	9.1	0.0	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1
主婦・主夫	242	42.6	2.5	17.8	7.9	15.7	3.3	2.5	7.4	0.4
学生	15	40.0	0.0	40.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	195	49.7	4.1	10.8	6.7	11.3	3.1	3.1	7.2	4.1
地域										
北海道	45	48.9	2.2	8.9	13.3	15.6	4.4	0.0	6.7	0.0
東北	70	48.6	1.4	17.1	4.3	8.6	8.6	0.0	8.6	2.9
関東	344	45.3	2.6	14.0	10.2	11.9	2.0	4.1	8.7	1.2
中部	165	44.8	5.5	12.1	7.9	17.6	3.0	2.4	6.7	0.0
近畿	176	44.3	1.1	21.0	6.8	14.2	1.1	2.8	6.3	2.3
中国	57	45.6	10.5	19.3	0.0	8.8	3.5	7.0	5.3	0.0
四国	31	54.8	3.2	9.7	6.5	12.9	0.0	0.0	9.7	3.2
九州	112	52.7	0.9	20.5	7.1	7.1	2.7	3.6	5.4	0.0
参考: 2020年11月(総数)	1,000	49.2	2.9	17.1	10.5	13.1	-	-	6.4	0.8

(※)上記以外: 台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム以外

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域  
(台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム以外)

問1 付問 (もっとも親しみを感じるのは) 具体的にどの国・地域ですか。

国名	回答者数
インドネシア	4
マレーシア	4
インド	2
トルコ	1
ネパール	1
パラオ	1
ブータン	1
ブルネイ	1
マカオ	1
ミャンマー	1
香港	1

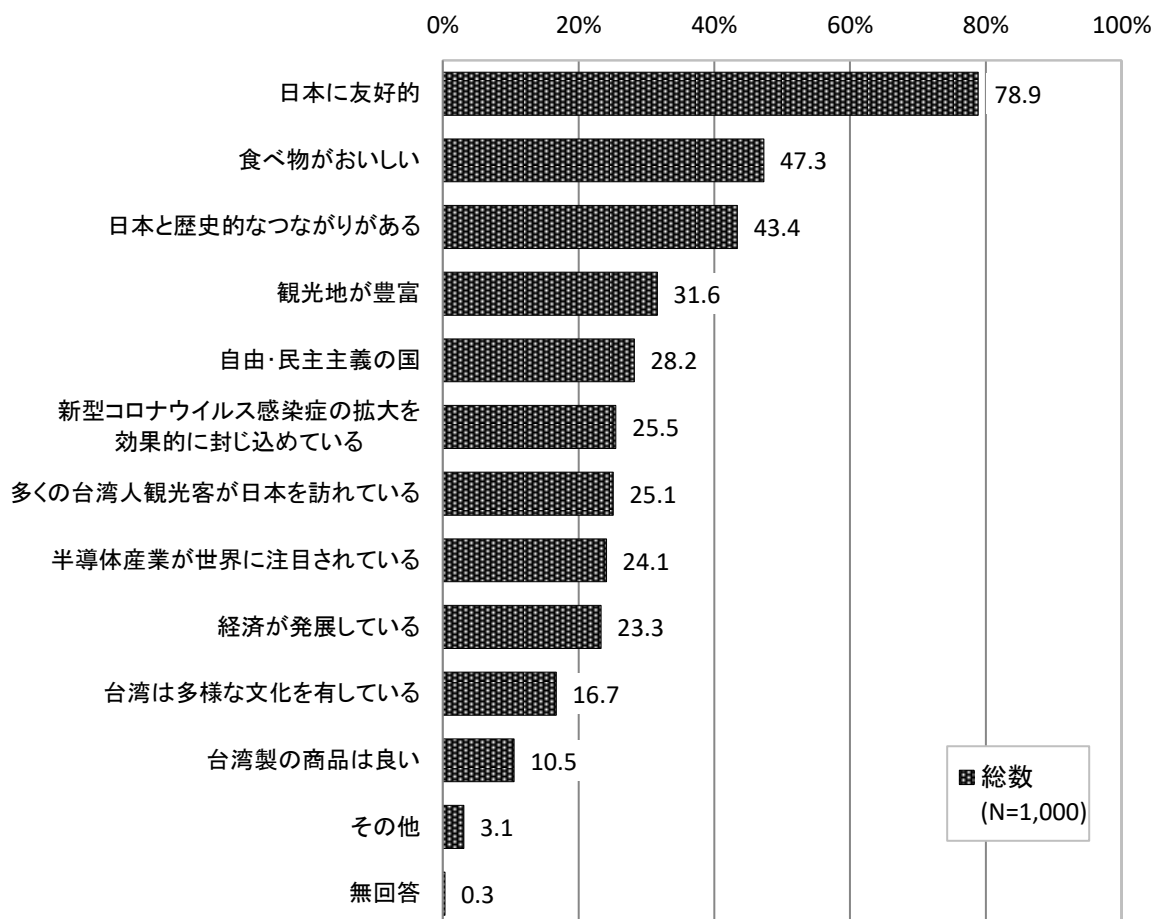
※該当者は73名。

※「無し」、複数の国を含む回答（「東南アジア」など）やアジア以外の地域の回答は上記集計から除外している。

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域で、「上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム）以外」と答えた者に、具体的な国名を聞いたところ、「インドネシア」と「マレーシア」が同数で4名、「インド」が2名、「トルコ」、「ネパール」、「パラオ」、「ブータン」、「ブルネイ」、「マカオ」、「ミャンマー」、「香港」が1名ずつとなっている。

## 台湾と聞いて思いつくこと

問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



「台湾」と聞いて思いつくことを聞いたところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、78.9%だった。続いて「食べ物がおいしい」が47.3%、「日本と歴史的なつながりがある」が43.4%、「観光地が豊富」31.6%、「自由・民主主義の国」28.2%、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を効果的に封じ込めている」25.5%、「多くの台湾人観光客が日本を訪れている」25.1%、「半導体産業が世界に注目されている」24.1%、「経済が発展している」23.3%、「台湾は多様な文化を有している」16.7%、「台湾製の商品は良い」10.5%となっている。

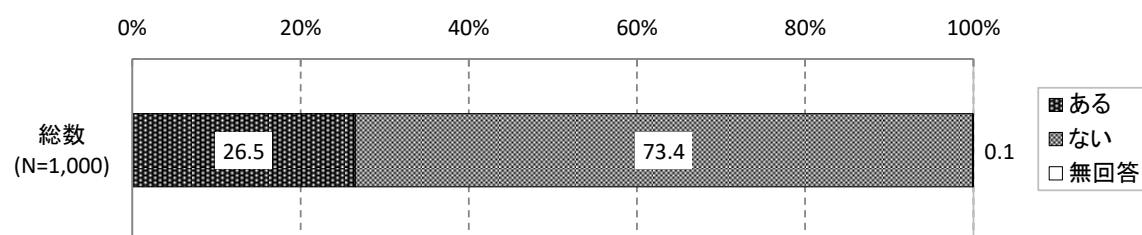
性別にみると、男女ともに「日本に友好的」が最も高い。次いで、男性では「日本と歴史的なつながりがある」、「食べ物がおいしい」、「自由・民主主義の国」、「半導体産業が世界に注目されている」、「経済が発展している」の順に高く、女性では「食べ物がおいしい」、「日本と歴史的なつながりがある」、「観光地が豊富」の順に高くなっている。

		総数	日本に 友好的	自由・民主 主義の国	経済が発 展している	食べ物が おいしい	観光地が 豊富	日本と 歴史的な つながり がある	台湾製の 商品は 良い	多くの台湾 人観光客が 日本を訪れ ている
総数		1,000	78.9	28.2	23.3	47.3	31.6	43.4	10.5	25.1
性別	男性	488	84.2	36.1	32.6	41.8	29.7	48.2	15.8	25.0
	女性	512	73.8	20.7	14.5	52.5	33.4	38.9	5.5	25.2
年代	20歳代	118	66.9	12.7	14.4	40.7	33.9	27.1	5.9	19.5
	30歳代	141	78.7	14.9	12.1	51.8	33.3	29.8	10.6	17.7
	40歳代	182	78.6	19.2	18.7	44.0	26.9	32.4	10.4	16.5
	50歳代	156	78.8	23.1	26.9	50.6	22.4	39.7	7.7	25.0
	60歳代	157	83.4	31.8	21.0	49.7	28.7	52.9	7.0	28.0
	70歳代	156	89.1	47.4	28.8	49.4	36.5	59.0	13.5	34.0
	80歳代	90	70.0	56.7	50.0	42.2	47.8	71.1	22.2	41.1
最終 学歴	中学校	49	53.1	26.5	32.7	22.4	20.4	44.9	16.3	34.7
	高等学校	308	74.4	30.2	20.1	42.9	32.1	40.9	8.4	23.4
	短大・高専・専門学校	203	76.4	15.3	13.8	49.3	26.1	33.5	7.9	22.7
	大学・大学院	437	86.5	33.0	29.1	52.6	35.0	49.7	12.6	26.3
職業	事務職	183	78.1	15.8	16.9	55.2	30.6	36.6	7.7	19.7
	管理職	79	89.9	41.8	32.9	49.4	26.6	51.9	15.2	24.1
	専門的・技術職	130	78.5	29.2	27.7	49.2	36.9	40.8	12.3	25.4
	販売・サービス職	76	78.9	15.8	13.2	39.5	27.6	32.9	7.9	23.7
	技能・労務職	69	71.0	13.0	15.9	37.7	30.4	33.3	10.1	18.8
	農林漁業	11	72.7	36.4	36.4	18.2	18.2	36.4	18.2	18.2
	主婦・主夫	242	76.9	25.6	15.7	51.2	29.8	43.8	6.2	26.9
	学生	15	66.7	20.0	13.3	46.7	20.0	20.0	6.7	13.3
	無職	195	82.1	47.2	38.5	41.0	36.9	57.4	16.4	32.3
地域	北海道	45	84.4	33.3	26.7	35.6	33.3	37.8	15.6	26.7
	東北	70	72.9	28.6	15.7	40.0	24.3	47.1	10.0	27.1
	関東	344	81.1	28.5	25.6	52.0	32.0	45.1	10.2	26.5
	中部	165	77.0	31.5	24.8	43.6	36.4	43.6	9.7	26.7
	近畿	176	76.1	25.0	20.5	48.3	32.4	35.8	9.1	22.2
	中国	57	73.7	28.1	19.3	43.9	21.1	52.6	8.8	21.1
	四国	31	77.4	6.5	9.7	35.5	19.4	32.3	6.5	16.1
	九州	112	83.9	31.3	27.7	50.9	34.8	48.2	15.2	25.9
参考:2020年11月(総数)		1,000	76.2	28.1	25.1	50.5	36.1	41.8	11.0	29.3

		総数	台湾は 多様な文化 を有して いる	新型コロナウ イルス感染症 の拡大を効果 的に封じ込め ている	半導体産 業が世界 に注目され ている	その他	無回答
総数		1,000	16.7	25.5	24.1	3.1	0.3
性別	男性	488	16.8	25.2	34.4	3.3	0.0
	女性	512	16.6	25.8	14.3	2.9	0.6
年代	20歳代	118	11.0	16.9	12.7	5.9	0.0
	30歳代	141	16.3	19.9	9.2	3.5	0.0
	40歳代	182	14.8	19.8	17.0	5.5	0.0
	50歳代	156	12.8	23.7	28.2	3.2	0.0
	60歳代	157	11.5	28.7	26.8	1.3	0.0
	70歳代	156	17.3	30.8	34.6	0.6	0.0
	80歳代	90	43.3	45.6	46.7	1.1	3.3
最終 学歴	中学校	49	22.4	22.4	22.4	6.1	6.1
	高等学校	308	13.3	24.7	21.4	4.9	0.0
	短大・高専・専門学校	203	18.2	23.2	19.7	3.4	0.0
	大学・大学院	437	17.4	27.7	27.9	1.4	0.0
職業	事務職	183	13.7	24.0	16.9	2.2	0.0
	管理職	79	15.2	22.8	35.4	1.3	0.0
	専門的・技術職	130	19.2	24.6	24.6	3.1	0.0
	販売・サービス職	76	13.2	17.1	14.5	3.9	0.0
	技能・労務職	69	11.6	17.4	13.0	5.8	0.0
	農林漁業	11	9.1	45.5	36.4	18.2	9.1
	主婦・主夫	242	16.1	30.6	21.1	3.3	0.0
	学生	15	13.3	13.3	20.0	0.0	0.0
	無職	195	23.1	28.2	36.9	2.6	1.0
地域	北海道	45	13.3	48.9	22.2	4.4	0.0
	東北	70	17.1	24.3	22.9	4.3	2.9
	関東	344	14.5	26.7	26.5	3.2	0.0
	中部	165	18.2	22.4	24.2	1.2	0.0
	近畿	176	17.6	20.5	18.8	5.1	0.6
	中国	57	12.3	26.3	26.3	0.0	0.0
	四国	31	6.5	12.9	12.9	6.5	0.0
	九州	112	25.9	28.6	28.6	1.8	0.0
参考:2020年11月(総数)		1,000	14.5	35.8	-	3.2	0.2

## これまでに台湾に行ったことがあるか

問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。(答えは1つ)



これまでに台湾に行ったことがあるか聞いたところ、「行ったことがある」と答えたのは26.5%、「行ったことがない」と答えたのは73.4%だった。

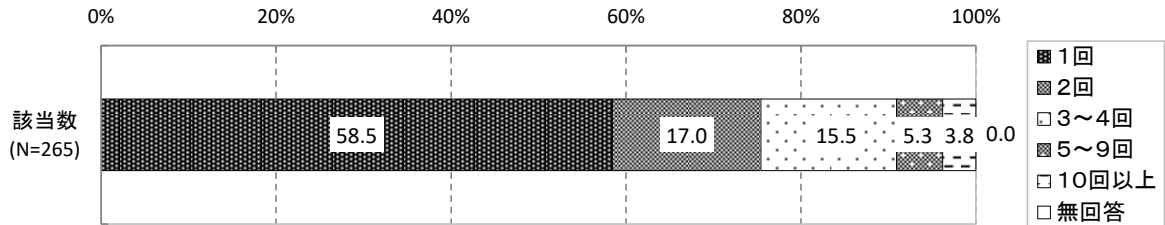
年代別にみると、「行ったことがある」と答えた者の割合が高かったのは70歳代で、4割台となっている一方、他の年代では「行ったことがない」と答えた者の割合が高く、7～8割台となっている。

		総数	ある	ない	無回答
総数		1,000	26.5	73.4	0.1
性別	男性	488	29.9	70.1	0.0
	女性	512	23.2	76.6	0.2
年代	20歳代	118	17.8	82.2	0.0
	30歳代	141	22.0	78.0	0.0
	40歳代	182	22.0	78.0	0.0
	50歳代	156	23.1	76.9	0.0
	60歳代	157	29.9	70.1	0.0
	70歳代	156	43.6	56.4	0.0
	80歳代	90	24.4	74.4	1.1
最終 学歴	中学校	49	8.2	89.8	2.0
	高等学校	308	20.5	79.5	0.0
	短大・高専・専門学校	203	22.2	77.8	0.0
	大学・大学院	437	35.0	65.0	0.0
職業	事務職	183	30.1	69.9	0.0
	管理職	79	45.6	54.4	0.0
	専門的・技術職	130	26.2	73.8	0.0
	販売・サービス職	76	14.5	85.5	0.0
	技能・労務職	69	14.5	85.5	0.0
	農林漁業	11	27.3	72.7	0.0
	主婦・主夫	242	23.1	76.4	0.4
	学生	15	0.0	100.0	0.0
地域	無職	195	30.8	69.2	0.0
	北海道	45	13.3	86.7	0.0
	東北	70	14.3	85.7	0.0
	関東	344	32.3	67.7	0.0
	中部	165	23.0	77.0	0.0
	近畿	176	30.7	69.3	0.0
	中国	57	22.8	75.4	1.8
	四国	31	12.9	87.1	0.0
	九州	112	25.9	74.1	0.0
参考:2020年11月(総数)		1,000	28.3	71.7	0.0



## これまでに台湾を訪れた回数

問3付問1 あなたは、これまでに何度台湾を訪れましたか。



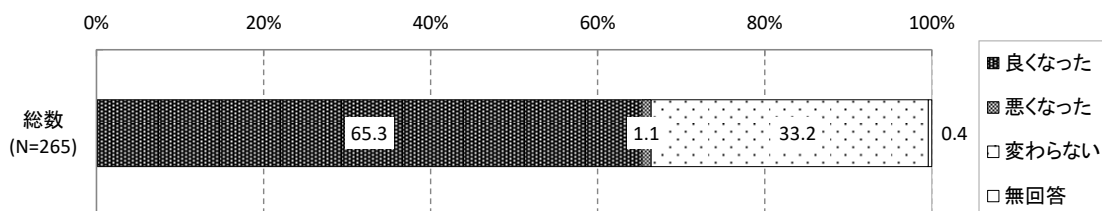
「これまでに台湾に行ったことがある」と答えた者に、訪台回数を聞いたところ、「1回」と答えたのは58.5%、「2回」と答えたのは17.0%、「3～4回」と答えたのは15.5%、「5～9回」と答えたのは5.3%、「10回以上」と答えたのは3.8%だった。

性別にみると、「2回以上」訪れた者は男性で47.9%、女性で33.6%と、男性で2回以上訪台している者が多くなっている。

		該当数	1回	2回	3～4回	5～9回	10回以上	無回答
総数		265	58.5	17.0	15.5	5.3	3.8	0.0
性別	男性	146	52.1	16.4	21.9	3.4	6.2	0.0
	女性	119	66.4	17.6	7.6	7.6	0.8	0.0
年代	20歳代	21	57.1	23.8	9.5	4.8	4.8	0.0
	30歳代	31	64.5	19.4	16.1	0.0	0.0	0.0
	40歳代	40	65.0	10.0	15.0	10.0	0.0	0.0
	50歳代	36	58.3	8.3	19.4	5.6	8.3	0.0
	60歳代	47	48.9	17.0	19.1	4.3	10.6	0.0
	70歳代	68	61.8	17.6	13.2	7.4	0.0	0.0
	80歳代	22	50.0	31.8	13.6	0.0	4.5	0.0
最終学歴	中学校	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	高等学校	63	55.6	25.4	9.5	6.3	3.2	0.0
	短大・高専・専門学校	45	73.3	13.3	11.1	2.2	0.0	0.0
	大学・大学院	153	54.9	14.4	19.6	5.9	5.2	0.0
職業	事務職	55	63.6	12.7	18.2	3.6	1.8	0.0
	管理職	36	50.0	8.3	27.8	0.0	13.9	0.0
	専門的・技術職	34	50.0	17.6	20.6	11.8	0.0	0.0
	販売・サービス職	11	72.7	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0
	技能・労務職	10	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	農林漁業	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	56	51.8	26.8	10.7	10.7	0.0	0.0
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	60	65.0	15.0	13.3	1.7	5.0	0.0
地域	北海道	6	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	東北	10	50.0	30.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	関東	111	55.9	15.3	19.8	6.3	2.7	0.0
	中部	38	50.0	26.3	18.4	5.3	0.0	0.0
	近畿	54	64.8	14.8	9.3	7.4	3.7	0.0
	中国	13	53.8	30.8	7.7	0.0	7.7	0.0
	四国	4	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	九州	29	72.4	6.9	13.8	0.0	6.9	0.0
参考:2020年11月(総数)		283	59.4	18.0	10.2	5.3	7.1	0.0

## 台湾に行った後の台湾に対する印象の変化

問3付問2 台湾に行った後、あなたの台湾に対する印象はどのように変わりましたか。(答えは1つ)

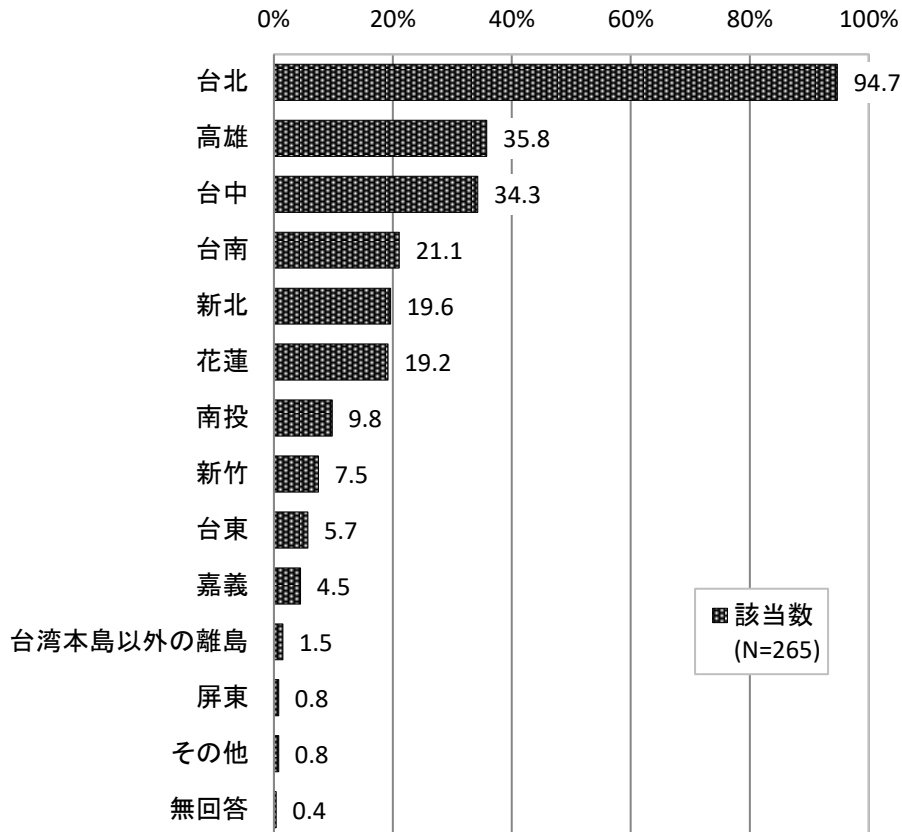


「台湾に行ったことがある」と答えた者に、台湾に行った後台湾に対する印象はどのように変わったかを聞いたところ、「良くなった」と答えたのは65.3%、「悪くなった」と答えたのは1.1%、「変わらない」と答えたのは33.2%だった。

		該当数	良くなった	悪くなった	変わらない	無回答
総数		265	65.3	1.1	33.2	0.4
性別	男性	146	68.5	0.0	30.8	0.7
	女性	119	61.3	2.5	36.1	0.0
年代	20歳代	21	76.2	4.8	19.0	0.0
	30歳代	31	80.6	0.0	19.4	0.0
	40歳代	40	70.0	2.5	27.5	0.0
	50歳代	36	69.4	0.0	30.6	0.0
	60歳代	47	63.8	0.0	36.2	0.0
	70歳代	68	55.9	0.0	44.1	0.0
	80歳代	22	50.0	4.5	40.9	4.5
最終学歴	中学校	4	75.0	0.0	25.0	0.0
	高等学校	63	57.1	1.6	41.3	0.0
	短大・高専・専門学校	45	48.9	4.4	46.7	0.0
	大学・大学院	153	73.2	0.0	26.1	0.7
職業	事務職	55	70.9	0.0	29.1	0.0
	管理職	36	75.0	0.0	25.0	0.0
	専門的・技術職	34	82.4	2.9	14.7	0.0
	販売・サービス職	11	81.8	0.0	18.2	0.0
	技能・労務職	10	80.0	0.0	20.0	0.0
	農林漁業	3	66.7	0.0	33.3	0.0
	主婦・主夫	56	46.4	3.6	50.0	0.0
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	60	56.7	0.0	41.7	1.7
地域	北海道	6	83.3	0.0	16.7	0.0
	東北	10	60.0	0.0	40.0	0.0
	関東	111	70.3	0.9	28.8	0.0
	中部	38	76.3	0.0	23.7	0.0
	近畿	54	46.3	1.9	51.9	0.0
	中国	13	53.8	0.0	38.5	7.7
	四国	4	75.0	0.0	25.0	0.0
	九州	29	69.0	3.4	27.6	0.0
参考:2020年11月(総数)		283	66.8	2.8	30.4	0.0

## 訪れたことのある地域

問4 あなたがこれまでに訪れたことのある地域を次の中からすべてお答えください。(複数回答可)



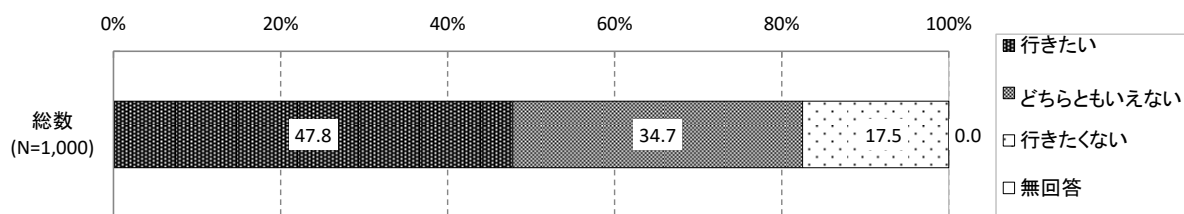
「これまでに台湾に行ったことがある」と答えた者に、訪れたことのある地域を選んでもらったところ、「台北」をあげた者の割合が最も高く 94.7%、以下、「高雄」35.8%、「台中」34.3%、「台南」21.1%、「新北」19.6%、「花蓮」19.2%、「南投」9.8%、「新竹」7.5%、「台東」5.7%、「嘉義」4.5%、「台湾本島以外の離島」1.5%、「屏東」0.8%の順となっている。

		該当数	台北	新北	新竹	台中	南投	嘉義	台南	高雄
総数		265	94.7	19.6	7.5	34.3	9.8	4.5	21.1	35.8
性別	男性	146	95.9	17.8	9.6	29.5	5.5	6.8	22.6	34.2
	女性	119	93.3	21.8	5.0	40.3	15.1	1.7	19.3	37.8
年代	20歳代	21	100.0	28.6	4.8	14.3	4.8	4.8	14.3	9.5
	30歳代	31	93.5	32.3	3.2	32.3	3.2	3.2	16.1	22.6
	40歳代	40	95.0	12.5	0.0	22.5	2.5	0.0	17.5	22.5
	50歳代	36	97.2	19.4	19.4	27.8	5.6	8.3	19.4	25.0
	60歳代	47	89.4	10.6	10.6	38.3	8.5	6.4	21.3	42.6
	70歳代	68	97.1	22.1	5.9	44.1	20.6	4.4	22.1	48.5
	80歳代	22	90.9	18.2	9.1	50.0	13.6	4.5	40.9	68.2
最終 学歴	中学校	4	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	高等学校	63	92.1	19.0	7.9	47.6	15.9	6.3	23.8	49.2
	短大・高専・専門学校	45	93.3	15.6	2.2	35.6	8.9	2.2	17.8	26.7
	大学・大学院	153	96.7	21.6	9.2	28.8	7.8	4.6	21.6	33.3
職業	事務職	55	98.2	14.5	7.3	27.3	1.8	1.8	10.9	25.5
	管理職	36	100.0	25.0	16.7	33.3	0.0	5.6	16.7	30.6
	専門的・技術職	34	97.1	23.5	2.9	23.5	2.9	5.9	17.6	26.5
	販売・サービス職	11	100.0	36.4	9.1	27.3	9.1	0.0	18.2	18.2
	技能・労務職	10	90.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0	10.0
	農林漁業	3	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3
	主婦・主夫	56	87.5	25.0	8.9	57.1	30.4	3.6	30.4	57.1
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	60	93.3	10.0	3.3	31.7	6.7	8.3	26.7	41.7
	地域	北海道	6	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
	東北	10	100.0	50.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	40.0
	関東	111	96.4	15.3	7.2	33.3	9.0	5.4	17.1	32.4
	中部	38	100.0	26.3	5.3	26.3	13.2	2.6	26.3	44.7
	近畿	54	87.0	20.4	7.4	42.6	13.0	3.7	31.5	31.5
	中国	13	76.9	0.0	7.7	53.8	0.0	0.0	23.1	30.8
	四国	4	100.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	九州	29	100.0	20.7	10.3	20.7	6.9	6.9	6.9	51.7
参考:2020年11月(総数)		283	96.1	27.9	6.7	35.7	12.0	4.6	24.4	40.3

		該当数	屏東	台東	花蓮	台湾本島 以外の 離島	その他	無回答
総数		265	0.8	5.7	19.2	1.5	0.8	0.4
性別	男性	146	1.4	3.4	15.1	1.4	0.0	0.0
	女性	119	0.0	8.4	24.4	1.7	1.7	0.8
年代	20歳代	21	4.8	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0
	30歳代	31	0.0	12.9	3.2	0.0	0.0	0.0
	40歳代	40	2.5	2.5	10.0	5.0	2.5	0.0
	50歳代	36	0.0	5.6	8.3	2.8	0.0	0.0
	60歳代	47	0.0	2.1	25.5	0.0	2.1	0.0
	70歳代	68	0.0	7.4	36.8	0.0	0.0	0.0
	80歳代	22	0.0	4.5	18.2	0.0	0.0	4.5
最終 学歴	中学校	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	高等学校	63	0.0	9.5	25.4	0.0	0.0	0.0
	短大・高専・専門学校	45	0.0	4.4	17.8	0.0	4.4	0.0
	大学・大学院	153	1.3	4.6	17.0	2.6	0.0	0.0
職業	事務職	55	0.0	9.1	10.9	0.0	0.0	0.0
	管理職	36	0.0	2.8	8.3	5.6	0.0	0.0
	専門的・技術職	34	2.9	0.0	14.7	0.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	11	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0
	技能・労務職	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	農林漁業	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	56	0.0	8.9	39.3	1.8	3.6	0.0
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	60	1.7	3.3	20.0	1.7	0.0	1.7
	地域	北海道	6	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
	東北	10	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	関東	111	0.0	3.6	18.9	0.0	0.9	0.0
	中部	38	2.6	5.3	26.3	5.3	0.0	0.0
	近畿	54	1.9	9.3	18.5	1.9	1.9	1.9
	中国	13	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
	四国	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	九州	29	0.0	3.4	13.8	0.0	0.0	0.0
参考:2020年11月(総数)		283	4.2	7.4	18.0	1.4	1.1	0.4

## 台湾に行きたいか

問5 今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、あなたは台湾に行きたいですか。(答えは1つ)



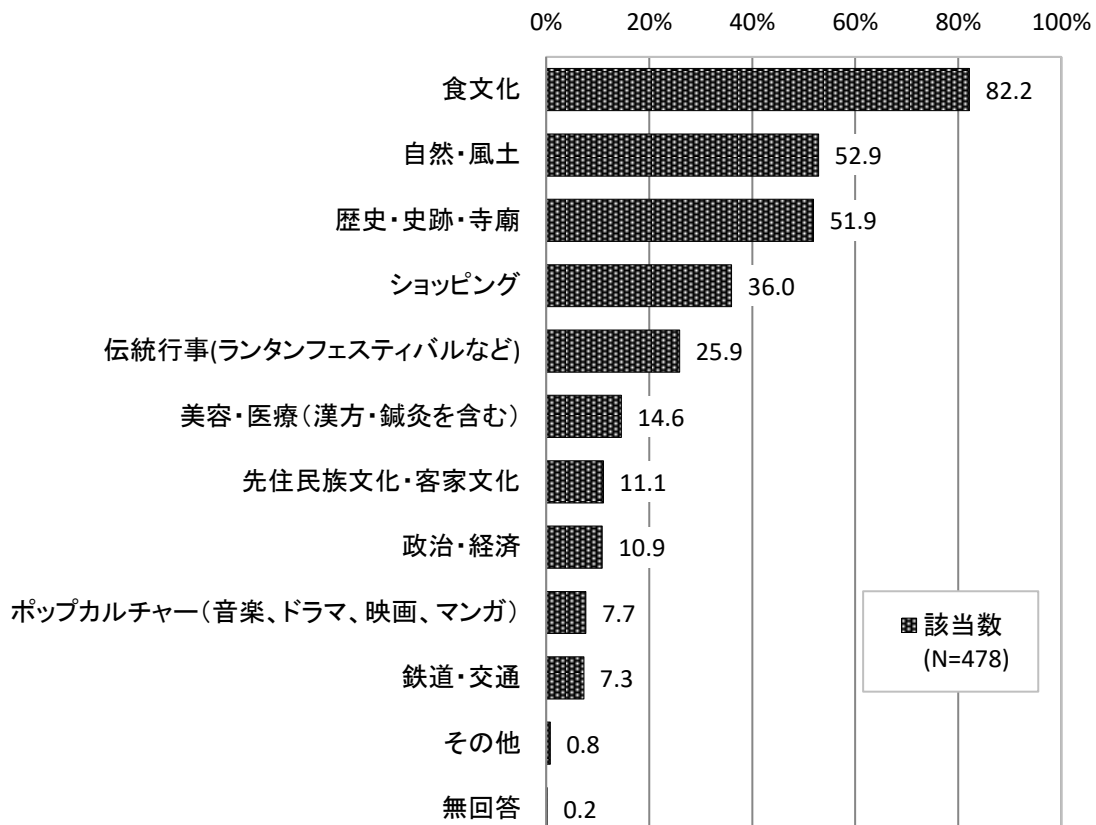
今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、台湾に行きたいか聞いたところ、「行きたい」と答えたのは47.8%、「どちらともいえない」と答えたのは34.7%、「行きたくない」と答えたのは17.5%だった。

年代別にみると、20歳代から40歳代と60歳代で「行きたい」が過半数となっている。

		総数	行きたい	どちらとも いえない	行きたく ない	無回答
総数		1,000	47.8	34.7	17.5	0.0
性別	男性	488	49.0	35.7	15.4	0.0
	女性	512	46.7	33.8	19.5	0.0
年代	20歳代	118	52.5	33.1	14.4	0.0
	30歳代	141	56.0	34.0	9.9	0.0
	40歳代	182	51.6	33.5	14.8	0.0
	50歳代	156	46.2	39.1	14.7	0.0
	60歳代	157	50.3	31.2	18.5	0.0
	70歳代	156	41.0	48.1	10.9	0.0
	80歳代	90	31.1	15.6	53.3	0.0
最終 学歴	中学校	49	24.5	18.4	57.1	0.0
	高等学校	308	39.0	38.0	23.1	0.0
	短大・高専・専門学校	203	44.3	36.5	19.2	0.0
	大学・大学院	437	58.6	33.6	7.8	0.0
職業	事務職	183	57.9	30.1	12.0	0.0
	管理職	79	64.6	30.4	5.1	0.0
	専門的・技術職	130	58.5	28.5	13.1	0.0
	販売・サービス職	76	43.4	42.1	14.5	0.0
	技能・労務職	69	42.0	36.2	21.7	0.0
	農林漁業	11	45.5	9.1	45.5	0.0
	主婦・主夫	242	40.5	39.7	19.8	0.0
	学生	15	66.7	26.7	6.7	0.0
	無職	195	35.9	37.4	26.7	0.0
地域	北海道	45	53.3	24.4	22.2	0.0
	東北	70	41.4	38.6	20.0	0.0
	関東	344	52.9	32.6	14.5	0.0
	中部	165	44.8	39.4	15.8	0.0
	近畿	176	44.3	35.2	20.5	0.0
	中国	57	40.4	38.6	21.1	0.0
	四国	31	25.8	41.9	32.3	0.0
九州	112	53.6	31.3	15.2	0.0	
参考: 2020年11月(総数)		1,000	49.9	33.6	16.5	0.0

## 台湾に対する興味

問6 台湾のどのような分野に興味がありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



今後台湾に行きたいと答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者の割合が最も高く、82.2%だった。以下、「自然・風土」52.9%、「歴史・史跡・寺廟」51.9%、「ショッピング」36.0%、「伝統行事(ランタンフェスティバルなど)」25.9%、「美容・医療(漢方・鍼灸を含む)」14.6%、「先住民族文化・客家文化」11.1%、「政治・経済」10.9%、「ポップカルチャー(音楽、ドラマ、映画、マンガ)」7.7%、「鉄道・交通」7.3%の順となっている。

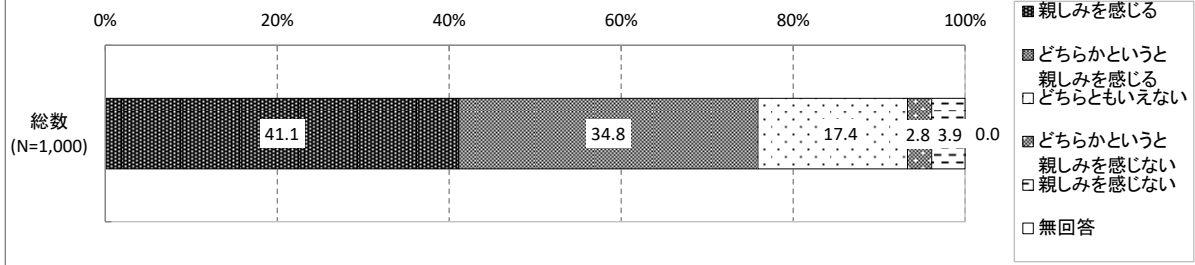
性別にみると、「自然・風土」、「歴史・史跡・寺廟」では男性のほうが高く、「ショッピング」、「伝統行事(ランタンフェスティバルなど)」では女性のほうが高くなっている。

		該当数	自然・風土	政治・経済	食文化	歴史・史跡・ 寺廟	伝統行事 (ランタンフェ スティバル など)	ショッピング	美容・医療 (漢方・鍼灸 を含む)	ポップカル チャー(音 楽、ドラマ、 映画、 マンガ)
総数		478	52.9	10.9	82.2	51.9	25.9	36.0	14.6	7.7
性別	男性	239	57.3	14.6	77.8	54.0	19.7	31.0	9.6	8.4
	女性	239	48.5	7.1	86.6	49.8	32.2	41.0	19.7	7.1
年代	20歳代	62	43.5	8.1	77.4	41.9	30.6	46.8	22.6	11.3
	30歳代	79	44.3	6.3	87.3	54.4	30.4	39.2	19.0	12.7
	40歳代	94	53.2	10.6	84.0	45.7	27.7	34.0	13.8	6.4
	50歳代	72	48.6	9.7	86.1	61.1	27.8	30.6	12.5	6.9
	60歳代	79	65.8	12.7	78.5	53.2	17.7	31.6	11.4	6.3
	70歳代	64	60.9	14.1	79.7	54.7	23.4	34.4	6.3	1.6
	80歳代	28	53.6	21.4	78.6	53.6	21.4	39.3	21.4	10.7
	最終 学歴	中学校	12	41.7	16.7	75.0	25.0	8.3	25.0	25.0
高等学校		120	55.8	7.5	76.7	50.0	23.3	40.0	15.0	2.5
短大・高専・専門学校		90	46.7	6.7	83.3	46.7	28.9	37.8	14.4	8.9
大学・大学院		256	54.3	13.7	84.8	55.9	27.0	34.0	14.1	9.8
職業	事務職	106	48.1	6.6	84.9	53.8	25.5	26.4	15.1	9.4
	管理職	51	51.0	13.7	82.4	52.9	11.8	21.6	11.8	7.8
	専門的・技術職	76	59.2	14.5	84.2	52.6	31.6	43.4	19.7	13.2
	販売・サービス職	33	54.5	12.1	78.8	48.5	24.2	27.3	15.2	9.1
	技能・労務職	29	51.7	3.4	75.9	69.0	34.5	65.5	13.8	10.3
	農林漁業	5	80.0	0.0	60.0	60.0	0.0	20.0	40.0	0.0
	主婦・主夫	98	48.0	11.2	86.7	44.9	27.6	39.8	13.3	4.1
	学生	10	40.0	10.0	90.0	20.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	無職	70	61.4	14.3	74.3	55.7	28.6	37.1	10.0	4.3
	地域	北海道	24	62.5	8.3	66.7	45.8	25.0	33.3	16.7
東北		29	48.3	24.1	86.2	44.8	20.7	48.3	10.3	3.4
関東		182	53.8	14.8	84.1	55.5	24.2	34.6	15.4	7.7
中部		74	52.7	10.8	81.1	55.4	35.1	40.5	20.3	8.1
近畿		78	52.6	2.6	87.2	51.3	24.4	23.1	12.8	5.1
中国		23	47.8	0.0	82.6	43.5	17.4	43.5	13.0	8.7
四国		8	87.5	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0
九州		60	46.7	8.3	83.3	50.0	31.7	46.7	11.7	8.3
参考:2020年11月(総数)		499	54.5	14.2	82.2	53.1	25.3	32.5	13.4	6.4

		該当数	鉄道・交通	先住民族文化・ 客家文化	その他	無回答
総数		478	7.3	11.1	0.8	0.2
性別	男性	239	8.4	13.0	1.3	0.0
	女性	239	6.3	9.2	0.4	0.4
年代	20歳代	62	6.5	4.8	3.2	0.0
	30歳代	79	5.1	7.6	0.0	0.0
	40歳代	94	2.1	8.5	0.0	0.0
	50歳代	72	12.5	13.9	0.0	0.0
	60歳代	79	6.3	11.4	0.0	0.0
	70歳代	64	4.7	14.1	1.6	0.0
	80歳代	28	28.6	28.6	3.6	3.6
	最終 学歴	中学校	12	25.0	8.3	0.0
高等学校		120	5.8	11.7	0.8	0.0
短大・高専・専門学校		90	4.4	11.1	1.1	0.0
大学・大学院		256	8.2	10.9	0.8	0.0
職業	事務職	106	8.5	7.5	0.0	0.0
	管理職	51	9.8	9.8	0.0	0.0
	専門的・技術職	76	5.3	19.7	0.0	0.0
	販売・サービス職	33	6.1	12.1	0.0	0.0
	技能・労務職	29	10.3	6.9	0.0	0.0
	農林漁業	5	20.0	40.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	98	4.1	8.2	1.0	0.0
	学生	10	10.0	0.0	10.0	0.0
	無職	70	8.6	12.9	2.9	1.4
	地域	北海道	24	0.0	16.7	4.2
東北		29	6.9	13.8	3.4	0.0
関東		182	10.4	11.5	0.5	0.5
中部		74	4.1	8.1	0.0	0.0
近畿		78	2.6	5.1	1.3	0.0
中国		23	8.7	13.0	0.0	0.0
四国		8	12.5	12.5	0.0	0.0
九州		60	10.0	16.7	0.0	0.0
参考:2020年11月(総数)		499	13.2	12.6	0.6	0.0

## 台湾に対する親しみ

問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)



台湾に親しみを感じるか聞いたところ、「親しみを感じる」と答えたのは41.1%、「どちらかという親しみを感じる」と答えたのは34.8%、「どちらともいえない」と答えたのは17.4%、「どちらかという親しみを感じない」と答えたのは2.8%、「親しみを感じない」と答えたのは3.9%だった。

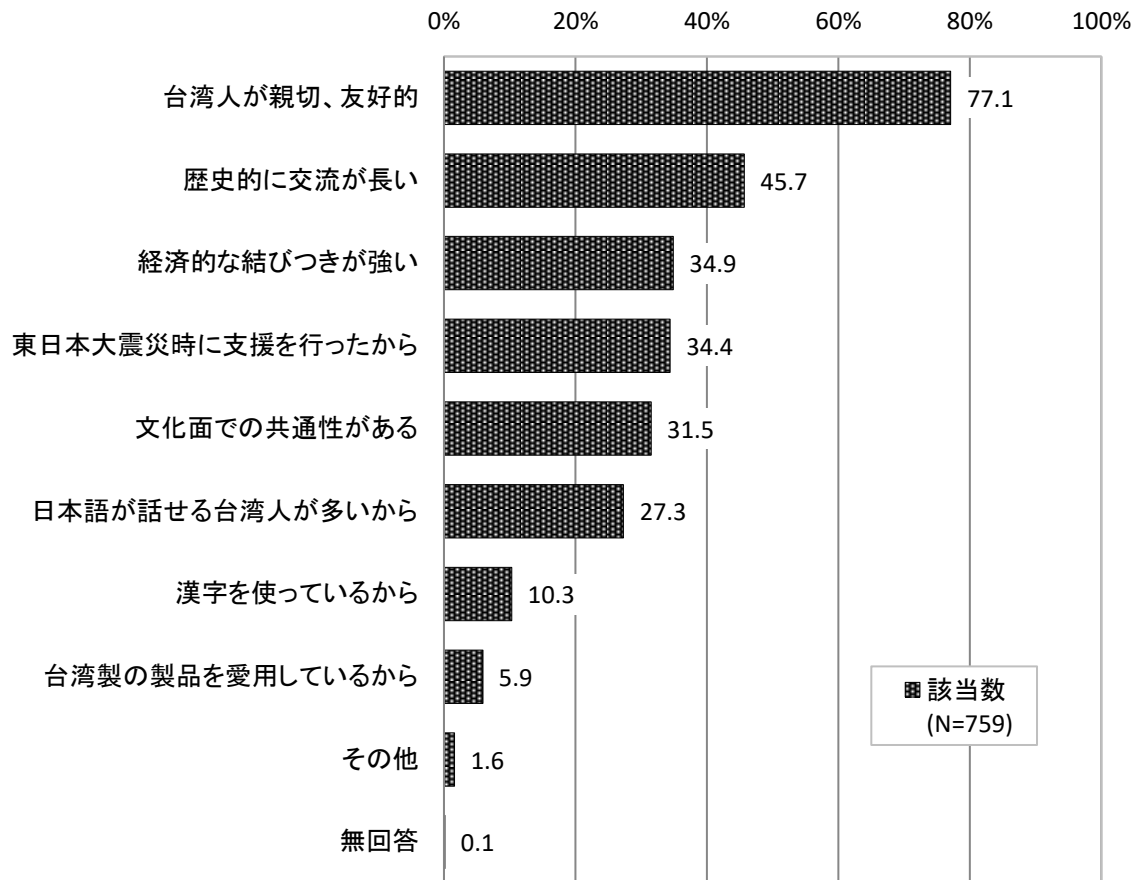
小計でみると、「親しみを感じる(計)」「親しみを感じる」+「どちらかという親しみを感じる」と答えた者は75.9%、「親しみを感じない(計)」「親しみを感じない」+「どちらかという親しみを感じない」と答えた者は6.7%となっている。

		総数	親しみを感じる	どちらかという親しみを感じる	どちらともいえない	どちらかという親しみを感じない	親しみを感じない	無回答	
総数		1,000	41.1	34.8	17.4	2.8	3.9	0.0	
性別	男性	488	45.5	35.2	14.3	1.4	3.5	0.0	
	女性	512	36.9	34.4	20.3	4.1	4.3	0.0	
年代	20歳代	118	28.8	38.1	19.5	5.1	8.5	0.0	
	30歳代	141	41.8	30.5	22.0	2.1	3.5	0.0	
	40歳代	182	37.4	38.5	16.5	3.3	4.4	0.0	
	50歳代	156	40.4	35.3	17.9	3.2	3.2	0.0	
	60歳代	157	46.5	35.7	15.3	1.9	0.6	0.0	
	70歳代	156	46.2	39.1	12.8	1.9	0.0	0.0	
	80歳代	90	46.7	20.0	20.0	2.2	11.1	0.0	
	中学校	49	26.5	20.4	30.6	6.1	16.3	0.0	
最終学歴	高等学校	308	39.3	30.5	22.1	2.6	5.5	0.0	
	短大・高専・専門学校	203	34.5	37.4	20.2	4.4	3.4	0.0	
	大学・大学院	437	47.1	38.4	11.2	1.8	1.4	0.0	
	事務職	183	40.4	39.3	13.1	3.3	3.8	0.0	
職業	管理職	79	62.0	26.6	10.1	1.3	0.0	0.0	
	専門的・技術職	130	42.3	35.4	16.9	4.6	0.8	0.0	
	販売・サービス職	76	35.5	40.8	15.8	1.3	6.6	0.0	
	技能・労務職	69	29.0	34.8	23.2	1.4	11.6	0.0	
	農林漁業	11	54.5	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0	
	主婦・主夫	242	38.0	33.9	21.9	2.9	3.3	0.0	
	学生	15	26.7	46.7	20.0	6.7	0.0	0.0	
	無職	195	43.1	32.8	17.4	2.6	4.1	0.0	
	地域	北海道	45	40.0	28.9	31.1	0.0	0.0	0.0
		東北	70	37.1	31.4	22.9	4.3	4.3	0.0
		関東	344	44.2	32.0	18.3	2.0	3.5	0.0
中部		165	37.6	39.4	17.0	2.4	3.6	0.0	
近畿		176	38.6	38.6	13.6	4.0	5.1	0.0	
中国		57	50.9	22.8	17.5	3.5	5.3	0.0	
四国		31	22.6	45.2	16.1	9.7	6.5	0.0	
九州	112	43.8	38.4	12.5	1.8	3.6	0.0		
参考:2020年11月(総数)		1,000	40.4	37.2	17.1	2.4	2.9	0.0	



## 親しみを感じる理由

問8 親しみを感じる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾に対して「親しみを感じる」、「どちらかという親しみを感じる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「台湾人が親切、友好的」をあげた者の割合が最も高く77.1%だった。以下、「歴史的に交流が長い」45.7%、「経済的な結びつきが強い」34.9%、「東日本大震災時に支援を行ったから」34.4%、「文化面での共通性がある」31.5%、「日本語が話せる台湾人が多いから」27.3%、「漢字を使っているから」10.3%、「台湾製の製品を愛用しているから」5.9%の順となっている。

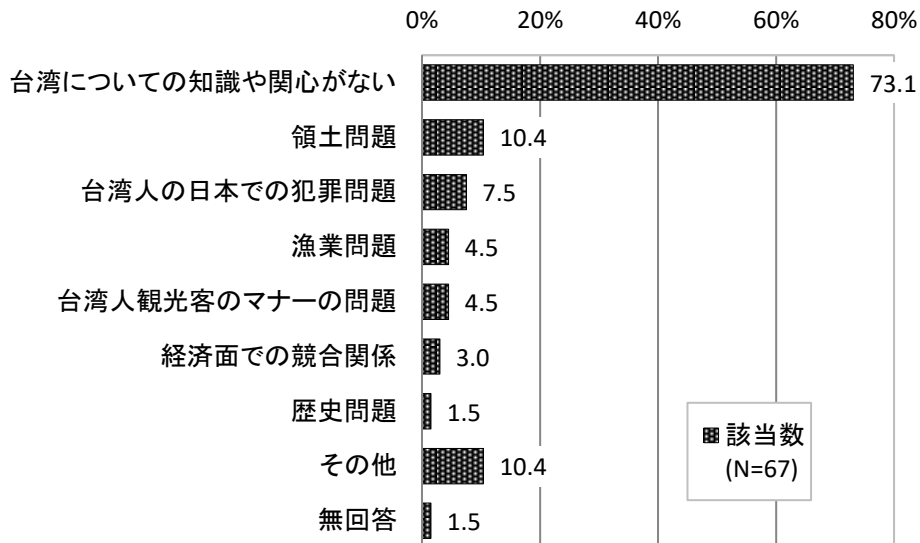
性別にみると、「経済的な結びつきが強い」をあげた者の割合は男性で高い。

		該当数	台湾人が親切、友好的	経済的な結びつきが強い	文化面での共通性がある	歴史的に交流が長い	東日本大震災時に支援を行ったから	台湾製の製品を愛用しているから	漢字を使っているから	
総数		759	77.1	34.9	31.5	45.7	34.4	5.9	10.3	
性別	男性	394	77.4	45.9	34.3	47.0	40.1	7.6	12.7	
	女性	365	76.7	23.0	28.5	44.4	28.2	4.1	7.7	
年代	20歳代	79	69.6	30.4	22.8	31.6	29.1	7.6	8.9	
	30歳代	102	85.3	23.5	26.5	31.4	26.5	2.0	6.9	
	40歳代	138	76.8	31.2	29.0	39.1	33.3	5.8	6.5	
	50歳代	118	81.4	33.1	31.4	43.2	29.7	5.9	8.5	
	60歳代	129	80.6	38.0	26.4	49.6	37.2	5.4	8.5	
	70歳代	133	70.7	42.1	39.1	57.9	39.1	6.0	9.8	
	80歳代	60	71.7	50.0	51.7	73.3	50.0	11.7	35.0	
	最終学歴	中学校	23	73.9	34.8	43.5	60.9	26.1	4.3	17.4
	高等学校	215	75.8	37.2	29.8	49.3	36.7	7.0	13.5	
	短大・高専・専門学校	146	76.0	26.0	32.2	38.4	30.1	3.4	5.5	
	大学・大学院	374	78.6	36.9	31.6	45.5	35.3	6.4	9.9	
職業	事務職	146	80.1	27.4	23.3	38.4	31.5	4.8	5.5	
	管理職	70	81.4	45.7	31.4	38.6	38.6	4.3	4.3	
	専門的・技術職	101	84.2	34.7	40.6	43.6	35.6	10.9	12.9	
	販売・サービス職	58	69.0	29.3	31.0	29.3	27.6	1.7	6.9	
	技能・労務職	44	77.3	36.4	25.0	43.2	36.4	4.5	13.6	
	農林漁業	7	85.7	28.6	28.6	57.1	28.6	0.0	14.3	
	主婦・主夫	174	76.4	29.3	27.6	48.9	31.6	5.7	9.8	
	学生	11	45.5	36.4	36.4	36.4	9.1	18.2	18.2	
		無職	148	73.0	45.9	39.9	61.5	41.9	6.1	16.2
		北海道	31	71.0	41.9	32.3	54.8	38.7	6.5	16.1
地域	東北	48	77.1	31.3	35.4	41.7	54.2	4.2	12.5	
	関東	262	80.9	32.1	29.8	44.7	34.0	7.3	9.2	
	中部	127	72.4	37.8	31.5	49.6	30.7	4.7	13.4	
	近畿	136	75.0	35.3	30.9	41.2	29.4	5.9	10.3	
	中国	42	78.6	31.0	26.2	45.2	33.3	2.4	0.0	
	四国	21	76.2	33.3	33.3	33.3	19.0	4.8	9.5	
		九州	92	77.2	40.2	37.0	52.2	40.2	6.5	10.9
		参考:2020年11月(総数)	776	77.8	33.2	32.6	43.4	34.8	6.8	13.8

		該当数	日本語が話せる台湾人が多いから	その他	無回答	
総数		759	27.3	1.6	0.1	
性別	男性	394	30.7	1.3	0.0	
	女性	365	23.6	1.9	0.3	
年代	20歳代	79	24.1	0.0	0.0	
	30歳代	102	22.5	2.0	0.0	
	40歳代	138	16.7	2.2	0.0	
	50歳代	118	21.2	2.5	0.0	
	60歳代	129	22.5	3.1	0.0	
	70歳代	133	33.1	0.0	0.0	
	80歳代	60	73.3	0.0	1.7	
	最終学歴	中学校	23	39.1	0.0	0.0
	高等学校	215	28.8	2.3	0.5	
	短大・高専・専門学校	146	21.9	2.1	0.0	
	大学・大学院	374	27.8	1.1	0.0	
職業	事務職	146	13.7	1.4	0.0	
	管理職	70	31.4	0.0	0.0	
	専門的・技術職	101	27.7	4.0	0.0	
	販売・サービス職	58	22.4	1.7	0.0	
	技能・労務職	44	34.1	0.0	0.0	
	農林漁業	7	57.1	0.0	0.0	
	主婦・主夫	174	26.4	1.1	0.0	
	学生	11	27.3	0.0	0.0	
		無職	148	37.8	2.0	0.7
		北海道	31	29.0	6.5	0.0
地域	東北	48	27.1	0.0	0.0	
	関東	262	28.2	1.9	0.0	
	中部	127	30.7	0.0	0.0	
	近畿	136	25.7	1.5	0.0	
	中国	42	11.9	2.4	0.0	
	四国	21	28.6	4.8	0.0	
		九州	92	28.3	1.1	1.1
		参考:2020年11月(総数)	776	35.3	2.6	0.1

## 親しみを感じない理由

問9 親しみを感じない理由は何ですか。(複数回答可)



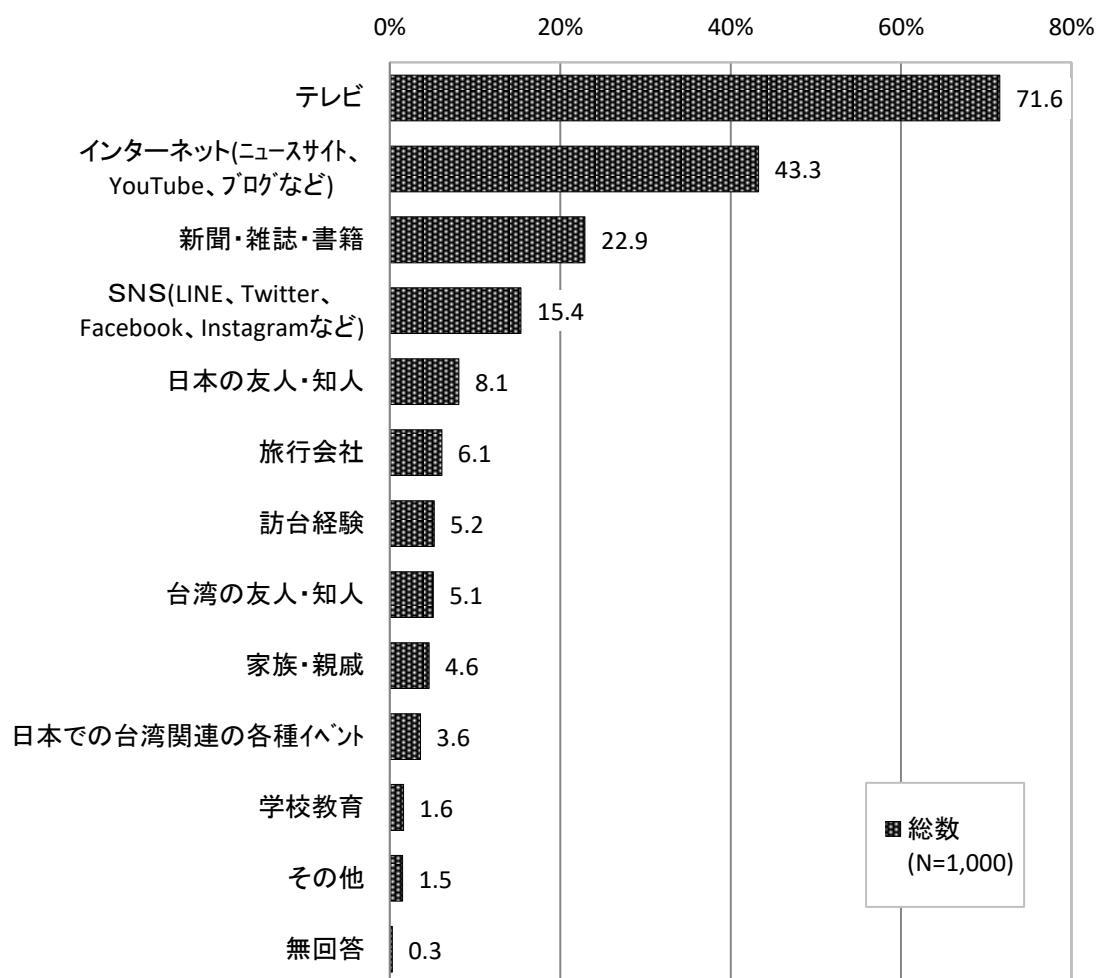
台湾に対して「どちらかという親しみを感じない」、「親しみを感じない」と答えた者(67人)に、その理由を聞いたところ、「台湾についての知識や関心がない」をあげた者の割合が73.1%(49人)で最も高く、以下、「領土問題」が10.4%(7人)、「台湾人の日本での犯罪問題」が7.5%(5人)、「漁業問題」、「台湾人観光客のマナーの問題」が同数で4.5%(3人)、「経済面での競合関係」3.0%(2人)、「歴史問題」が1.5%(1人)となっている。

「その他」10.4%(7人)の中では、具体的な理由として“特に(理由は)ない”、“漠然と好きでない”など、具体的な意見がないことを述べた者が多かった。

		該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	台湾人の日本での犯罪問題	台湾人観光客のマナーの問題	台湾についての知識や関心がない	その他	無回答
総数		67	4.5	3.0	10.4	1.5	7.5	4.5	73.1	10.4	1.5
性別	男性	24	8.3	4.2	20.8	4.2	16.7	8.3	62.5	12.5	0.0
	女性	43	2.3	2.3	4.7	0.0	2.3	2.3	79.1	9.3	2.3
年代	20歳代	16	6.3	6.3	25.0	6.3	12.5	6.3	68.8	6.3	0.0
	30歳代	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	40歳代	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0
	50歳代	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
	60歳代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	100.0	0.0	0.0
	70歳代	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	80歳代	12	16.7	8.3	16.7	0.0	16.7	8.3	50.0	0.0	8.3
最終学歴	中学校	11	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	72.7	0.0	9.1
	高等学校	25	4.0	4.0	12.0	0.0	4.0	0.0	72.0	12.0	0.0
	短大・高専・専門学校	16	0.0	0.0	18.8	0.0	6.3	6.3	62.5	18.8	0.0
	大学・大学院	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9	7.1	0.0
職業	事務職	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	7.7	0.0
	管理職	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	7	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	57.1	14.3	0.0
	販売・サービス職	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	技能・労務職	9	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	66.7	11.1	0.0
	農林漁業	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	主婦・主夫	15	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	66.7	20.0	0.0
	学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無職	13	15.4	7.7	23.1	0.0	23.1	15.4	69.2	0.0	7.7
	北海道	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域	東北	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0
	関東	19	10.5	5.3	15.8	0.0	5.3	5.3	78.9	5.3	0.0
	中部	10	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0	70.0	0.0	0.0
	近畿	16	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	68.8	18.8	6.3
	中国	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0
	四国	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0
	九州	6	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	16.7	0.0
参考:2020年11月(総数)		53	11.3	9.4	17.0	17.0	17.0	32.1	-	24.5	9.4

## 台湾に関する情報源

問10 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。(複数回答可)



台湾に関する情報源について聞いたところ、「テレビ」をあげた者の割合が最も高く、71.6%だった。以下、「インターネット(ニュースサイト、YouTube、ブログなど)」43.3%、「新聞・雑誌・書籍」22.9%、「SNS(LINE、Twitter、Facebook、Instagramなど)」15.4%、「日本の友人・知人」8.1%、「旅行会社」6.1%、「訪台経験」5.2%、「台湾の友人・知人」5.1%、「家族・親戚」4.6%、「日本での台湾関連の各種イベント」3.6%、「学校教育」1.6%となっている。

性別にみると、男女とも「テレビ」が1位となっている。次いで多い「インターネット」をあげた者の割合は男性で55.5%、女性で31.6%と、男性で高くなっている。

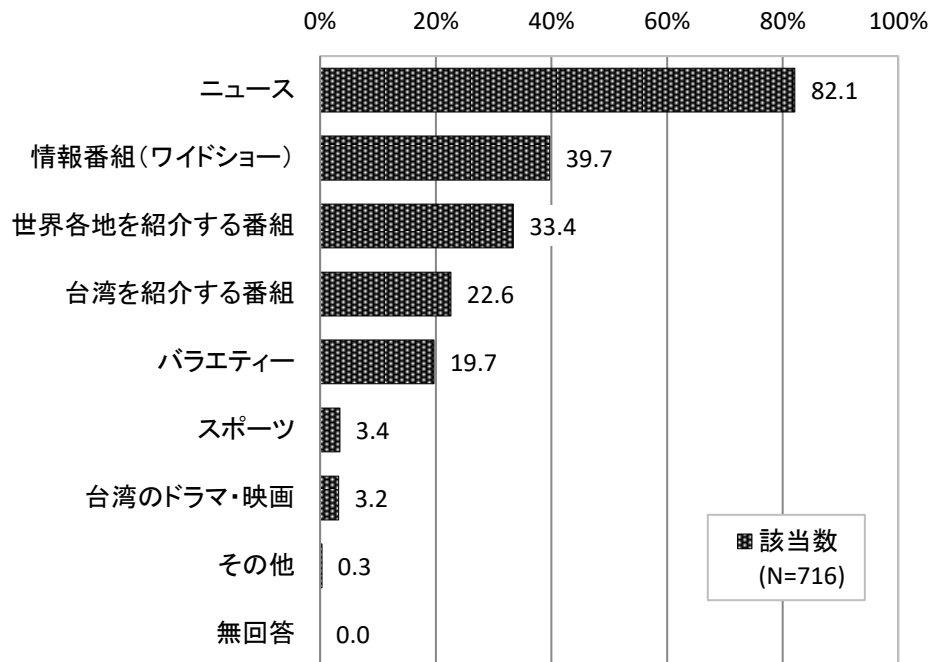
年代別にみると、すべての年代で「テレビ」が1位となっている。「SNS」をあげた者の割合は、20歳代と30歳代で3割台となっており、40歳代以上で2割未満であるのと比べて高い。「新聞・雑誌・書籍」をあげた者の割合は、60歳代以上で3割を超えており、50歳代以下で2割未満であるのと比べて高い。

		総数	テレビ	インターネット	SNS	新聞・雑誌・書籍	訪台経験	家族・親戚	台湾の友人・知人	日本の友人・知人	学校教育
総数		1,000	71.6	43.3	15.4	22.9	5.2	4.6	5.1	8.1	1.6
性別	男性	488	69.7	55.5	14.5	25.4	6.6	2.9	4.5	5.9	1.8
	女性	512	73.4	31.6	16.2	20.5	3.9	6.3	5.7	10.2	1.4
年代	20歳代	118	61.0	50.0	39.0	6.8	0.0	2.5	5.9	10.2	5.9
	30歳代	141	64.5	46.1	32.6	7.8	0.7	3.5	4.3	9.2	0.7
	40歳代	182	72.5	52.2	13.7	12.1	3.3	3.3	2.7	7.7	0.0
	50歳代	156	65.4	52.6	9.6	19.2	3.2	4.5	7.1	5.8	0.6
	60歳代	157	77.1	43.3	7.0	31.2	7.0	5.1	5.1	4.5	0.0
	70歳代	156	78.2	39.7	7.1	37.8	11.5	4.5	6.4	7.1	0.0
	80歳代	90	84.4	2.2	0.0	55.6	12.2	11.1	4.4	16.7	7.8
最終学歴	中学校	49	77.6	14.3	6.1	22.4	0.0	8.2	4.1	10.2	2.0
	高等学校	308	72.7	33.1	13.3	24.7	4.5	4.5	5.5	6.8	1.9
	短大・高専・専門学校	203	69.0	38.9	11.8	19.2	3.9	3.9	4.9	10.3	1.5
	大学・大学院	437	71.2	56.1	19.7	22.9	6.9	4.3	5.0	7.8	1.4
職業	事務職	183	64.5	45.9	24.6	15.3	2.2	1.6	5.5	7.7	1.1
	管理職	79	67.1	63.3	13.9	26.6	8.9	0.0	7.6	6.3	0.0
	専門的・技術職	130	75.4	53.1	19.2	18.5	6.2	3.8	3.1	10.0	0.0
	販売・サービス職	76	67.1	43.4	15.8	9.2	2.6	5.3	2.6	14.5	3.9
	技能・労務職	69	69.6	53.6	18.8	17.4	2.9	2.9	1.4	5.8	1.4
	農林漁業	11	90.9	18.2	9.1	18.2	9.1	0.0	18.2	9.1	18.2
	主婦・主夫	242	76.4	32.2	10.3	27.3	5.8	8.3	6.6	9.5	0.4
	学生	15	73.3	66.7	46.7	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	13.3
	無職	195	72.8	35.9	7.7	35.4	7.2	6.2	4.6	4.6	2.6
	北海道	45	73.3	48.9	11.1	17.8	4.4	6.7	2.2	4.4	6.7
地域	東北	70	82.9	35.7	8.6	25.7	5.7	8.6	11.4	5.7	2.9
	関東	344	68.9	44.2	15.7	23.3	5.8	4.7	5.5	9.3	1.7
	中部	165	69.7	43.6	18.8	26.7	6.1	3.6	3.0	10.3	0.6
	近畿	176	69.9	43.8	17.6	21.0	2.3	4.5	5.1	6.8	0.6
	中国	57	77.2	42.1	14.0	28.1	5.3	5.3	3.5	7.0	1.8
	四国	31	61.3	32.3	3.2	19.4	3.2	3.2	6.5	0.0	3.2
	九州	112	77.7	45.5	16.1	17.9	7.1	2.7	4.5	8.9	0.9
参考:2020年11月(総数)		1,000	69.7	48.2	13.9	23.8	6.9	4.8	4.7	10.1	1.5

		総数	日本での台湾関連の各種イベント	旅行会社	その他	無回答
総数		1,000	3.6	6.1	1.5	0.3
性別	男性	488	4.1	5.3	1.2	0.4
	女性	512	3.1	6.8	1.8	0.2
年代	20歳代	118	4.2	4.2	0.8	0.0
	30歳代	141	3.5	6.4	0.7	0.0
	40歳代	182	4.4	6.0	3.8	0.0
	50歳代	156	3.2	1.3	3.8	0.0
	60歳代	157	1.9	5.1	0.0	0.0
	70歳代	156	3.8	13.5	0.0	0.0
	80歳代	90	4.4	5.6	0.0	3.3
最終学歴	中学校	49	4.1	4.1	2.0	2.0
	高等学校	308	1.9	6.5	1.3	0.3
	短大・高専・専門学校	203	3.9	3.4	3.9	0.5
	大学・大学院	437	4.6	7.3	0.5	0.0
職業	事務職	183	4.4	8.2	2.2	0.0
	管理職	79	3.8	3.8	0.0	0.0
	専門的・技術職	130	3.1	3.1	0.8	0.0
	販売・サービス職	76	3.9	6.6	0.0	0.0
	技能・労務職	69	1.4	1.4	2.9	0.0
	農林漁業	11	9.1	9.1	9.1	0.0
	主婦・主夫	242	2.5	8.3	1.7	0.0
	学生	15	6.7	0.0	0.0	0.0
	無職	195	4.6	6.2	1.5	1.5
	北海道	45	2.2	2.2	2.2	0.0
地域	東北	70	7.1	2.9	2.9	0.0
	関東	344	3.8	8.4	1.2	0.3
	中部	165	2.4	9.1	1.8	0.0
	近畿	176	2.8	4.0	1.1	1.1
	中国	57	5.3	0.0	0.0	0.0
	四国	31	0.0	3.2	6.5	0.0
	九州	112	4.5	5.4	0.9	0.0
参考:2020年11月(総数)		1,000	2.6	-	1.9	0.4

## 台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル

問10付問 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。(複数回答可)



台湾に関する情報源として「テレビ」をあげた者に、どのような番組で台湾に関する情報を得ているか聞いたところ、「ニュース」の割合が最も高く、82.1%だった。以下、「情報番組(ワイドショー)」39.7%、「世界各地を紹介する番組」33.4%、「台湾を紹介する番組」22.6%、「バラエティー」19.7%、「スポーツ」3.4%、「台湾のドラマ・映画」3.2%の順となっている。

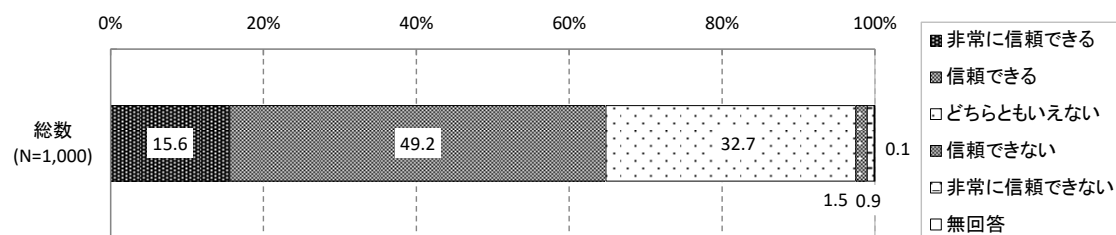
年代別にみると、「バラエティー」をあげた者の割合は20歳代から40歳代で約3割となっており、50歳代以上で2割未満であるのと比べて高い。

		該当者	ニュース	情報番組 (ワイド ショー)	バラエティー	世界各地を 紹介する 番組	台湾を 紹介する 番組	台湾のドラ マ・映画	スポーツ
総数		716	82.1	39.7	19.7	33.4	22.6	3.2	3.4
性別	男性	340	88.5	38.8	19.7	32.4	25.0	2.1	5.3
	女性	376	76.3	40.4	19.7	34.3	20.5	4.3	1.6
年代	20歳代	72	79.2	36.1	33.3	26.4	12.5	2.8	2.8
	30歳代	91	75.8	37.4	29.7	38.5	17.6	3.3	2.2
	40歳代	132	75.0	30.3	32.6	32.6	17.4	1.5	1.5
	50歳代	102	80.4	39.2	15.7	30.4	20.6	3.9	2.9
	60歳代	121	83.5	51.2	11.6	35.5	24.0	4.1	1.7
	70歳代	122	89.3	50.0	8.2	34.4	33.6	2.5	4.1
	80歳代	76	93.4	27.6	9.2	34.2	30.3	5.3	10.5
	最終 学歴	中学校	38	86.8	31.6	15.8	31.6	15.8	7.9
	高等学校	224	82.1	44.2	12.9	29.5	20.5	2.2	4.5
	短大・高専・専門学校	140	75.0	39.3	21.4	35.0	25.0	5.0	0.7
	大学・大学院	311	84.6	37.9	24.4	36.0	23.5	2.6	3.9
職業	事務職	118	78.8	31.4	23.7	32.2	21.2	4.2	3.4
	管理職	53	83.0	49.1	22.6	39.6	32.1	3.8	3.8
	専門的・技術職	98	80.6	34.7	29.6	33.7	19.4	1.0	2.0
	販売・サービス職	51	74.5	41.2	13.7	29.4	21.6	2.0	3.9
	技能・労務職	48	85.4	52.1	37.5	33.3	14.6	0.0	2.1
	農林漁業	10	80.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	185	79.5	41.1	14.1	34.6	23.8	4.3	3.8
	学生	11	90.9	27.3	27.3	45.5	9.1	0.0	0.0
	無職	142	90.1	42.3	11.3	31.7	26.1	4.2	4.2
地域	北海道	33	75.8	51.5	9.1	33.3	21.2	6.1	6.1
	東北	58	79.3	36.2	24.1	31.0	13.8	0.0	1.7
	関東	237	82.3	43.9	16.9	37.6	27.4	2.5	4.2
	中部	115	80.0	35.7	22.6	34.8	19.1	5.2	5.2
	近畿	123	84.6	41.5	22.0	27.6	18.7	4.9	1.6
	中国	44	84.1	36.4	22.7	29.5	27.3	2.3	2.3
	四国	19	78.9	21.1	15.8	21.1	26.3	0.0	0.0
	九州	87	85.1	34.5	20.7	34.5	23.0	2.3	2.3
参考:2020年11月(総数)		697	80.8	41.0	21.2	32.6	23.0	3.2	2.4

		該当者	その他	無回答
総数		716	0.3	0.0
性別	男性	340	0.0	0.0
	女性	376	0.5	0.0
年代	20歳代	72	0.0	0.0
	30歳代	91	1.1	0.0
	40歳代	132	0.0	0.0
	50歳代	102	1.0	0.0
	60歳代	121	0.0	0.0
	70歳代	122	0.0	0.0
	80歳代	76	0.0	0.0
	最終 学歴	中学校	38	0.0
	高等学校	224	0.9	0.0
	短大・高専・専門学校	140	0.0	0.0
	大学・大学院	311	0.0	0.0
職業	事務職	118	0.8	0.0
	管理職	53	0.0	0.0
	専門的・技術職	98	0.0	0.0
	販売・サービス職	51	0.0	0.0
	技能・労務職	48	0.0	0.0
	農林漁業	10	0.0	0.0
	主婦・主夫	185	0.5	0.0
	学生	11	0.0	0.0
	無職	142	0.0	0.0
地域	北海道	33	0.0	0.0
	東北	58	1.7	0.0
	関東	237	0.0	0.0
	中部	115	0.0	0.0
	近畿	123	0.8	0.0
	中国	44	0.0	0.0
	四国	19	0.0	0.0
	九州	87	0.0	0.0
参考:2020年11月(総数)		697	0.0	0.7

## 台湾に対する信頼

問11 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



台湾は信頼できるか聞いたところ、「非常に信頼できる」と答えたのは15.6%、「信頼できる」と答えたのは49.2%、「どちらともいえない」と答えたのは32.7%、「信頼できない」と答えたのは1.5%、「非常に信頼できない」と答えたのは0.9%だった。

小計でみると、「信頼できる(計)」(「非常に信頼できる」+「信頼できる」)と答えた者の割合は64.8%と6割を超えており、「信頼できない(計)」(「信頼できない」+「非常に信頼できない」)と答えた者は2.4%で、ごく少数となっている。

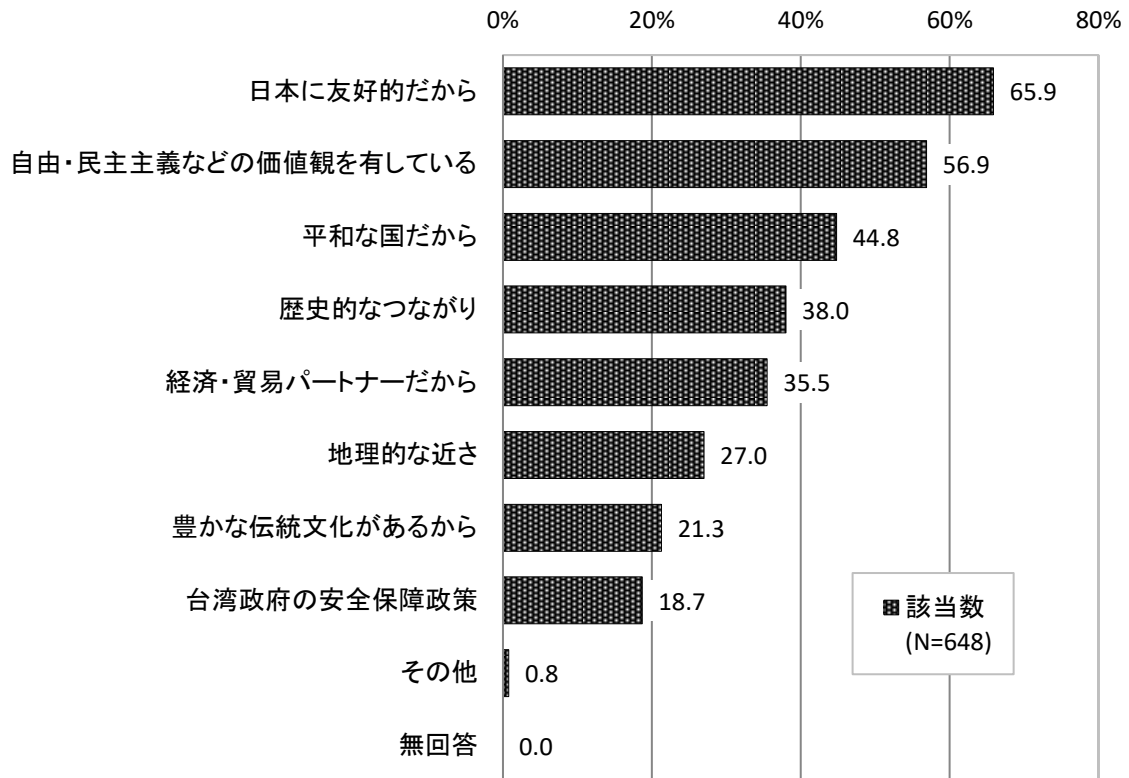
性別にみると、男性で「信頼できる(計)」が72.6%、女性で57.4%となっており、男性で高い。

		総数	非常に信頼できる	信頼できる	どちらともいえない	信頼できない	非常に信頼できない	無回答
総数		1,000	15.6	49.2	32.7	1.5	0.9	0.1
性別	男性	488	19.9	52.7	25.6	0.6	1.2	0.0
	女性	512	11.5	45.9	39.5	2.3	0.6	0.2
年代	20歳代	118	16.9	40.7	38.1	1.7	2.5	0.0
	30歳代	141	17.0	43.3	36.2	2.8	0.7	0.0
	40歳代	182	12.6	50.0	34.1	1.1	2.2	0.0
	50歳代	156	14.1	48.1	37.8	0.0	0.0	0.0
	60歳代	157	22.3	52.2	25.5	0.0	0.0	0.0
	70歳代	156	12.8	62.8	24.4	0.0	0.0	0.0
	80歳代	90	13.3	41.1	35.6	7.8	1.1	1.1
最終学歴	中学校	49	2.0	34.7	46.9	8.2	8.2	0.0
	高等学校	308	14.0	45.8	36.7	2.6	0.6	0.3
	短大・高専・専門学校	203	12.3	44.3	42.4	1.0	0.0	0.0
	大学・大学院	437	19.9	55.8	23.3	0.2	0.7	0.0
職業	事務職	183	18.0	48.1	31.7	0.5	1.6	0.0
	管理職	79	26.6	54.4	19.0	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	130	17.7	52.3	28.5	1.5	0.0	0.0
	販売・サービス職	76	14.5	42.1	42.1	0.0	1.3	0.0
	技能・労務職	69	11.6	39.1	40.6	4.3	4.3	0.0
	農林漁業	11	9.1	54.5	36.4	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	242	11.2	47.5	39.3	2.1	0.0	0.0
	学生	15	6.7	66.7	26.7	0.0	0.0	0.0
	無職	195	15.9	52.8	27.7	2.1	1.0	0.5
地域	北海道	45	15.6	46.7	37.8	0.0	0.0	0.0
	東北	70	18.6	41.4	37.1	2.9	0.0	0.0
	関東	344	13.7	54.4	29.9	1.2	0.9	0.0
	中部	165	14.5	46.7	36.4	1.8	0.6	0.0
	近畿	176	16.5	46.0	32.4	3.4	1.1	0.6
	中国	57	12.3	50.9	35.1	0.0	1.8	0.0
	四国	31	6.5	54.8	32.3	0.0	6.5	0.0
九州	112	24.1	45.5	30.4	0.0	0.0	0.0	
参考:2020年11月(総数)		1,000	17.0	50.6	30.5	1.2	0.4	0.3



## 信頼できる理由

問12 信頼できる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾は「非常に信頼できる」、「信頼できる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「日本に友好的だから」をあげた者の割合が最も高く、65.9%だった。以下、「自由・民主主義などの価値観を有している」56.9%、「平和な国だから」44.8%、「歴史的なつながり」38.0%、「経済・貿易パートナーだから」35.5%、「地理的な近さ」27.0%、「豊かな伝統文化があるから」21.3%、「台湾政府の安全保障政策」18.7%の順となっている。

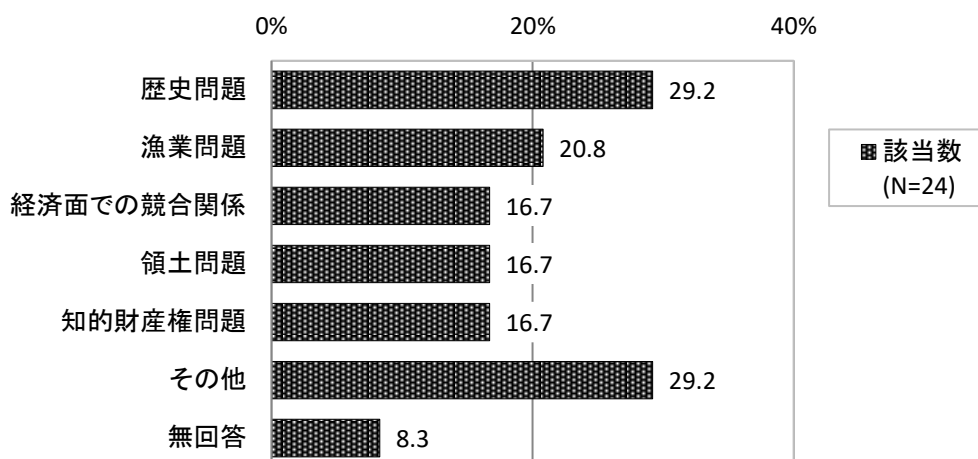
性別にみると、男性では「自由・民主主義などの価値観を有している」、「経済・貿易パートナーだから」をあげた者の割合が高い。

		該当数	自由・民主主義などの価値観を有している	平和な国だから	経済・貿易パートナーだから	台湾政府の安全保障政策	豊かな伝統文化があるから	地理的な近さ	歴史的なつながり	日本に友好的だから
総数		648	56.9	44.8	35.5	18.7	21.3	27.0	38.0	65.9
性別	男性	354	65.3	46.3	46.9	22.6	21.2	32.2	39.0	64.7
	女性	294	46.9	42.9	21.8	13.9	21.4	20.7	36.7	67.3
年代	20歳代	68	47.1	48.5	35.3	16.2	17.6	32.4	29.4	60.3
	30歳代	85	37.6	48.2	32.9	14.1	23.5	21.2	32.9	64.7
	40歳代	114	50.9	50.0	33.3	21.1	20.2	18.4	27.2	52.6
	50歳代	97	54.6	38.1	37.1	16.5	18.6	18.6	38.1	72.2
	60歳代	117	71.8	42.7	34.2	20.5	15.4	22.2	32.5	62.4
	70歳代	118	65.3	33.9	31.4	18.6	19.5	33.9	50.0	73.7
	80歳代	49	67.3	65.3	55.1	24.5	49.0	61.2	67.3	83.7
最終学歴	中学校	18	50.0	50.0	33.3	11.1	11.1	38.9	44.4	55.6
	高等学校	184	52.7	45.7	36.4	16.3	21.2	31.0	44.0	67.4
	短大・高専・専門学校	115	46.1	49.6	25.2	20.0	22.6	27.8	35.7	66.1
	大学・大学院	331	63.4	42.3	38.7	19.9	21.5	23.9	35.0	65.6
職業	事務職	121	53.7	47.1	34.7	17.4	17.4	20.7	33.9	58.7
	管理職	64	67.2	42.2	39.1	23.4	20.3	17.2	28.1	67.2
	専門的・技術職	91	59.3	52.7	44.0	23.1	29.7	25.3	37.4	71.4
	販売・サービス職	43	41.9	37.2	30.2	11.6	18.6	20.9	23.3	55.8
	技能・労務職	35	34.3	40.0	42.9	14.3	17.1	42.9	34.3	62.9
	農林漁業	7	71.4	71.4	42.9	42.9	28.6	42.9	71.4	71.4
	主婦・主夫	142	52.8	38.0	24.6	14.1	18.3	23.2	40.8	69.7
	学生	11	45.5	72.7	36.4	9.1	18.2	27.3	18.2	36.4
	無職	134	68.7	45.5	39.6	22.4	24.6	39.6	49.3	70.1
	地域	北海道	28	60.7	46.4	35.7	10.7	32.1	28.6	53.6
東北	42	59.5	35.7	33.3	21.4	16.7	23.8	50.0	69.0	
関東	234	58.1	45.3	33.8	17.9	20.5	27.4	37.2	63.7	
中部	101	61.4	48.5	47.5	17.8	20.8	33.7	36.6	64.4	
近畿	110	53.6	44.5	33.6	20.0	20.0	21.8	32.7	67.3	
中国	36	50.0	36.1	27.8	13.9	16.7	19.4	41.7	63.9	
四国	19	36.8	63.2	31.6	15.8	10.5	21.1	36.8	57.9	
九州	78	57.7	42.3	33.3	24.4	29.5	30.8	35.9	70.5	
参考:2020年11月(総数)		676	60.7	47.3	33.0	23.1	26.2	27.4	38.6	61.5

		該当数	その他	無回答
総数		648	0.8	0.0
性別	男性	354	1.1	0.0
	女性	294	0.3	0.0
年代	20歳代	68	2.9	0.0
	30歳代	85	2.4	0.0
	40歳代	114	0.9	0.0
	50歳代	97	0.0	0.0
	60歳代	117	0.0	0.0
	70歳代	118	0.0	0.0
	80歳代	49	0.0	0.0
最終学歴	中学校	18	0.0	0.0
	高等学校	184	0.5	0.0
	短大・高専・専門学校	115	1.7	0.0
	大学・大学院	331	0.6	0.0
職業	事務職	121	0.0	0.0
	管理職	64	1.6	0.0
	専門的・技術職	91	0.0	0.0
	販売・サービス職	43	0.0	0.0
	技能・労務職	35	2.9	0.0
	農林漁業	7	0.0	0.0
	主婦・主夫	142	0.7	0.0
	学生	11	9.1	0.0
	無職	134	0.7	0.0
	地域	北海道	28	0.0
東北	42	4.8	0.0	
関東	234	0.4	0.0	
中部	101	0.0	0.0	
近畿	110	0.9	0.0	
中国	36	0.0	0.0	
四国	19	0.0	0.0	
九州	78	1.3	0.0	
参考:2020年11月(総数)		676	1.2	0.0

## 信頼できない理由

問 1 3 信頼できない理由は何ですか。(複数回答可)



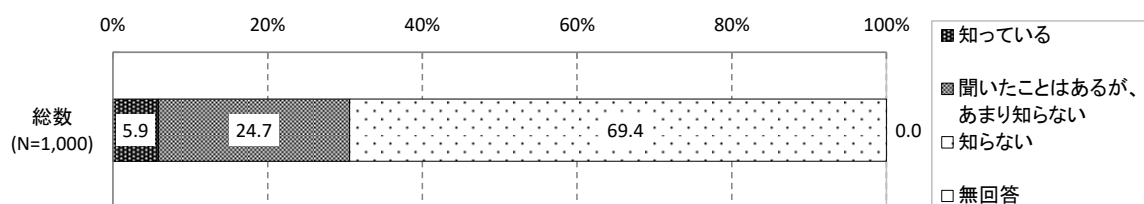
台湾は「信頼できない」、「非常に信頼できない」と答えた者（24人）に、その理由を聞いたところ、「歴史問題」をあげた者の割合が最も高く、29.2%（7人）だった。以下、「漁業問題」20.8%（5人）、「経済面での競合関係」、「領土問題」、「知的財産権問題」が同率で16.7%（4人）となっている。

「その他」29.2%（7人）の中では、具体的な理由として“興味がないから”、“知らないから”などを述べた者が多かった。

		該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権問題	その他	無回答
総数		24	20.8	16.7	16.7	29.2	16.7	29.2	8.3
性別	男性	9	22.2	22.2	22.2	44.4	22.2	33.3	0.0
	女性	15	20.0	13.3	13.3	20.0	13.3	26.7	13.3
年代	20歳代	5	20.0	40.0	60.0	80.0	20.0	20.0	0.0
	30歳代	5	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0
	40歳代	6	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	0.0
	50歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳代	8	50.0	12.5	0.0	29.2	16.7	29.2	25.0
	最終学歴	8	37.5	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0
職業	高等学校	10	20.0	10.0	10.0	30.0	0.0	50.0	0.0
	短大・高専・専門学校	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	大学・大学院	4	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	事務職	4	0.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	管理職	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	販売・サービス職	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	技能・労務職	6	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	66.7	0.0
	農林漁業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	5	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
地域	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	6	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3
	北海道	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東北	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	関東	7	28.6	28.6	14.3	57.1	28.6	14.3	0.0
	中部	4	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
	近畿	8	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	50.0	12.5
	中国	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	四国	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	九州	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
参考:2020年11月(総数)		16	6.3	25.0	31.3	25.0	12.5	18.8	0.0

## 台北駐日経済文化代表処を知っているか

問14 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)



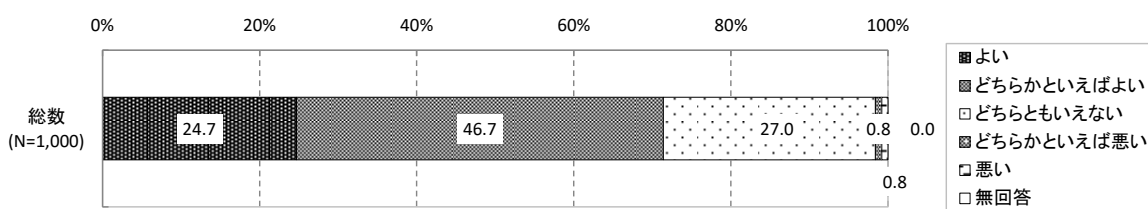
台北駐日経済文化代表処を知っているか聞いたところ、「知っている」と答えたのは5.9%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えたのは24.7%、「知らない」と答えたのは69.4%だった。

性別にみると、「知っている」と答えたのは男性で9.6%、女性で2.3%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えたのは男性で26.8%、女性で22.7%となっており、男性のほうがやや認知度が高い。

		総数	知っている	聞いたことはあるが、あまり知らない	知らない	無回答
総数		1,000	5.9	24.7	69.4	0.0
性別	男性	488	9.6	26.8	63.5	0.0
	女性	512	2.3	22.7	75.0	0.0
年代	20歳代	118	8.5	25.4	66.1	0.0
	30歳代	141	3.5	20.6	75.9	0.0
	40歳代	182	4.4	20.9	74.7	0.0
	50歳代	156	7.1	21.8	71.2	0.0
	60歳代	157	8.3	25.5	66.2	0.0
	70歳代	156	4.5	37.8	57.7	0.0
	80歳代	90	5.6	18.9	75.6	0.0
最終学歴	中学校	49	2.0	10.2	87.8	0.0
	高等学校	308	2.9	28.9	68.2	0.0
	短大・高専・専門学校	203	3.4	21.7	74.9	0.0
	大学・大学院	437	9.6	24.9	65.4	0.0
職業	事務職	183	9.3	26.8	63.9	0.0
	管理職	79	11.4	22.8	65.8	0.0
	専門的・技術職	130	6.9	30.0	63.1	0.0
	販売・サービス職	76	2.6	22.4	75.0	0.0
	技能・労務職	69	2.9	21.7	75.4	0.0
	農林漁業	11	9.1	27.3	63.6	0.0
	主婦・主夫	242	2.9	23.1	74.0	0.0
	学生	15	0.0	20.0	80.0	0.0
	無職	195	6.2	24.1	69.7	0.0
地域	北海道	45	2.2	20.0	77.8	0.0
	東北	70	1.4	28.6	70.0	0.0
	関東	344	4.9	25.9	69.2	0.0
	中部	165	6.1	30.9	63.0	0.0
	近畿	176	6.3	21.0	72.7	0.0
	中国	57	7.0	22.8	70.2	0.0
	四国	31	6.5	19.4	74.2	0.0
	九州	112	11.6	19.6	68.8	0.0
参考:2020年11月(総数)		1,000	6.5	25.5	67.9	0.1

## 日本と台湾の関係をどう思うか

問15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



現在の日本と台湾の関係をどう思うか聞いたところ、「よい」と答えたのは24.7%、「どちらかといえばよい」と答えたのは46.7%、「どちらともいえない」と答えたのは27.0%、「どちらかといえば悪い」と答えたのは0.8%、「悪い」と答えたのは0.8%だった。

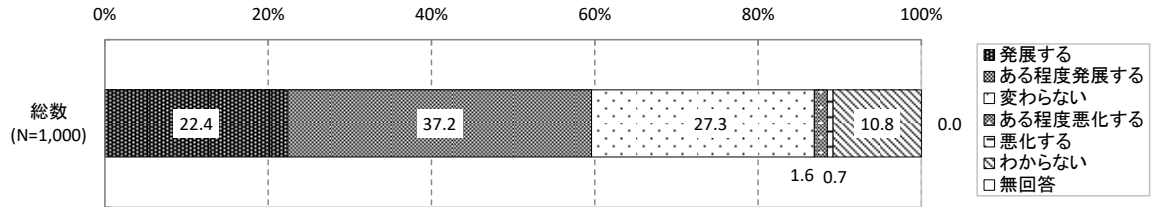
小計でみると、「よい(計)」「よい」+「どちらかといえばよい」と答えたのは71.4%、「悪い(計)」「悪い」+「どちらかといえば悪い」と答えたのは1.6%だった。

性別にみると、「よい(計)」と答えたのは男性で79.9%、女性で63.2%と、男性で高い。

		総数	よい	どちらかとい えばよい	どちらとも いえない	どちらかとい えば悪い	悪い	無回答
総数		1,000	24.7	46.7	27.0	0.8	0.8	0.0
性別	男性	488	30.3	49.6	18.9	0.6	0.6	0.0
	女性	512	19.3	43.9	34.8	1.0	1.0	0.0
年代	20歳代	118	20.3	39.8	33.9	1.7	4.2	0.0
	30歳代	141	26.2	44.0	27.7	0.7	1.4	0.0
	40歳代	182	18.7	52.7	28.0	0.0	0.5	0.0
	50歳代	156	24.4	47.4	26.9	1.3	0.0	0.0
	60歳代	157	33.8	44.6	21.7	0.0	0.0	0.0
	70歳代	156	22.4	59.6	17.9	0.0	0.0	0.0
	80歳代	90	28.9	27.8	40.0	3.3	0.0	0.0
最終 学歴	中学校	49	16.3	26.5	51.0	4.1	2.0	0.0
	高等学校	308	25.0	40.9	32.8	0.6	0.6	0.0
	短大・高専・専門学校	203	19.7	44.8	34.5	0.5	0.5	0.0
	大学・大学院	437	27.9	54.2	16.2	0.7	0.9	0.0
職業	事務職	183	22.4	45.4	29.5	1.1	1.6	0.0
	管理職	79	41.8	45.6	12.7	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	130	26.9	50.8	22.3	0.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	76	21.1	40.8	35.5	1.3	1.3	0.0
	技能・労務職	69	18.8	42.0	34.8	1.4	2.9	0.0
	農林漁業	11	54.5	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	242	21.5	48.3	29.8	0.4	0.0	0.0
	学生	15	26.7	46.7	20.0	0.0	6.7	0.0
	無職	195	24.1	49.7	24.1	1.5	0.5	0.0
地域	北海道	45	33.3	37.8	28.9	0.0	0.0	0.0
	東北	70	20.0	45.7	34.3	0.0	0.0	0.0
	関東	344	25.9	46.8	25.0	1.5	0.9	0.0
	中部	165	23.0	47.9	28.5	0.0	0.6	0.0
	近畿	176	21.6	48.3	29.0	1.1	0.0	0.0
	中国	57	22.8	49.1	26.3	0.0	1.8	0.0
	四国	31	19.4	51.6	22.6	3.2	3.2	0.0
九州	112	30.4	43.8	24.1	0.0	1.8	0.0	
参考:2020年11月(総数)		1,000	25.2	48.4	25.3	0.7	0.3	0.1

## 日本と台湾の関係は将来どうなるか

問16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると思いますか。(答えは1つ)



日本と台湾の関係は将来どうなるか聞いたところ、「発展する」と答えたのは22.4%、「ある程度発展する」と答えたのは37.2%、「変わらない」と答えたのは27.3%、「ある程度悪化する」と答えたのは1.6%、「悪化する」と答えたのは0.7%だった。なお、「わからない」と答えたのは10.8%だった。

小計でみると、「発展する(計)」「(発展する) + (ある程度発展する)」は59.6%、「悪化する(計)」「(ある程度悪化する) + (悪化する)」は2.3%となっている。

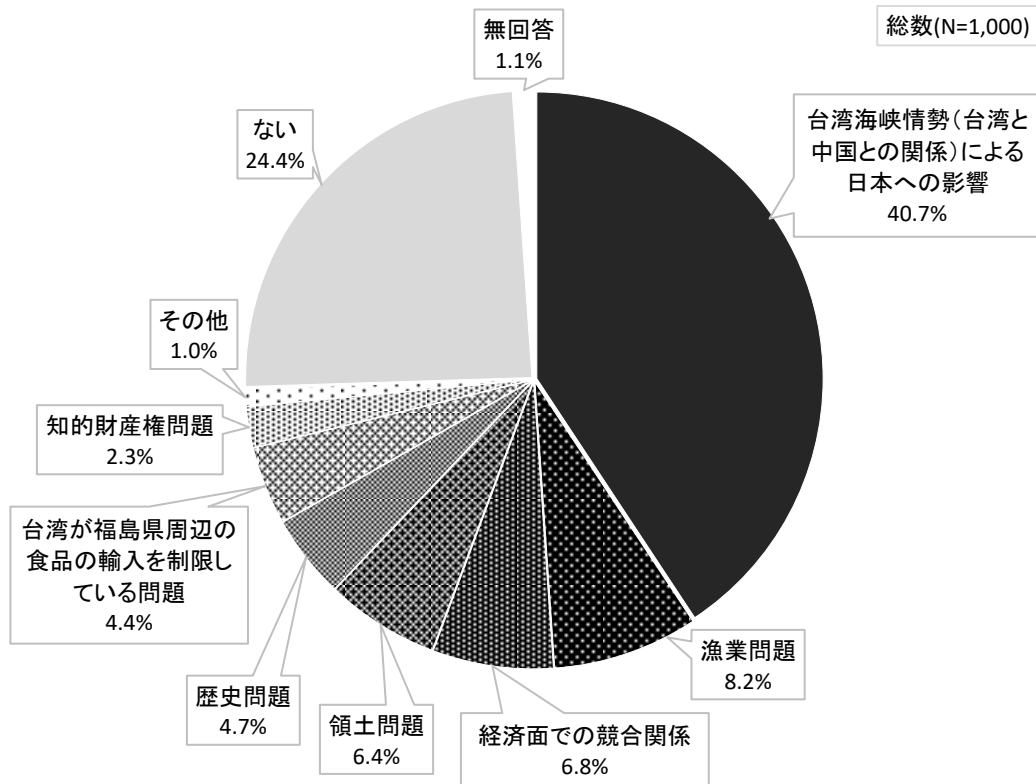
性別にみると、「発展する(計)」と答えた者の割合は男性で66.0%、女性で53.5%と、男性のほうが高い。

年代別にみると、80歳代を除くすべての年代で「発展する(計)」と答えた者は半数を超えている。

		総数	発展する	ある程度 発展する	変わらない	ある程度 悪化する	悪化する	わからない	無回答
総数		1,000	22.4	37.2	27.3	1.6	0.7	10.8	0.0
性別	男性	488	28.3	37.7	23.6	1.6	0.8	8.0	0.0
	女性	512	16.8	36.7	30.9	1.6	0.6	13.5	0.0
年代	20歳代	118	20.3	33.9	33.9	1.7	0.8	9.3	0.0
	30歳代	141	29.1	31.2	29.8	2.1	0.7	7.1	0.0
	40歳代	182	23.1	39.0	28.0	0.0	0.0	9.9	0.0
	50歳代	156	21.2	35.9	26.3	2.6	0.0	14.1	0.0
	60歳代	157	26.1	42.0	19.7	2.5	0.6	8.9	0.0
	70歳代	156	19.2	42.9	29.5	1.9	0.6	5.8	0.0
	80歳代	90	14.4	31.1	24.4	0.0	3.3	26.7	0.0
	最終 学歴	中学校	49	8.2	30.6	28.6	0.0	4.1	28.6
	高等学校	308	20.1	34.7	28.9	1.0	0.6	14.6	0.0
	短大・高専・専門学校	203	17.7	35.0	32.0	2.5	0.5	12.3	0.0
	大学・大学院	437	27.9	41.0	23.6	1.8	0.5	5.3	0.0
職業	事務職	183	26.2	37.7	26.2	1.1	0.0	8.7	0.0
	管理職	79	35.4	39.2	19.0	2.5	0.0	3.8	0.0
	専門的・技術職	130	31.5	33.8	23.8	1.5	1.5	7.7	0.0
	販売・サービス職	76	23.7	39.5	28.9	2.6	0.0	5.3	0.0
	技能・労務職	69	17.4	31.9	31.9	1.4	1.4	15.9	0.0
	農林漁業	11	45.5	18.2	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0
	主婦・主夫	242	14.0	37.6	31.4	1.7	0.4	14.9	0.0
	学生	15	20.0	33.3	40.0	0.0	0.0	6.7	0.0
	無職	195	17.9	40.0	26.7	1.5	1.5	12.3	0.0
	地域	北海道	45	28.9	33.3	24.4	0.0	2.2	11.1
東北		70	14.3	38.6	27.1	1.4	1.4	17.1	0.0
関東		344	22.7	37.5	29.4	1.5	0.3	8.7	0.0
中部		165	27.9	31.5	25.5	2.4	0.6	12.1	0.0
近畿		176	17.6	38.6	29.5	2.3	0.6	11.4	0.0
中国		57	14.0	43.9	24.6	0.0	1.8	15.8	0.0
四国		31	16.1	35.5	35.5	0.0	0.0	12.9	0.0
九州		112	29.5	40.2	20.5	1.8	0.9	7.1	0.0
参考: 2020年11月(総数)		1,000	24.6	39.1	24.4	1.3	0.4	10.2	0.0

## 日本と台湾の間で最も懸念される問題

問17 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うのはどれですか。  
(答えは1つ)



日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うものを聞いたところ、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」と答えた者の割合がもっとも高く、40.7%だった。以下、「漁業問題」8.2%、「経済面での競合関係」6.8%、「領土問題」6.4%、「歴史問題」4.7%、「台湾が福島周辺県の食品の輸入を制限している問題」4.4%、「知的財産権問題」2.3%の順となっている。なお、「ない」と答えた者の割合は24.4%だった。

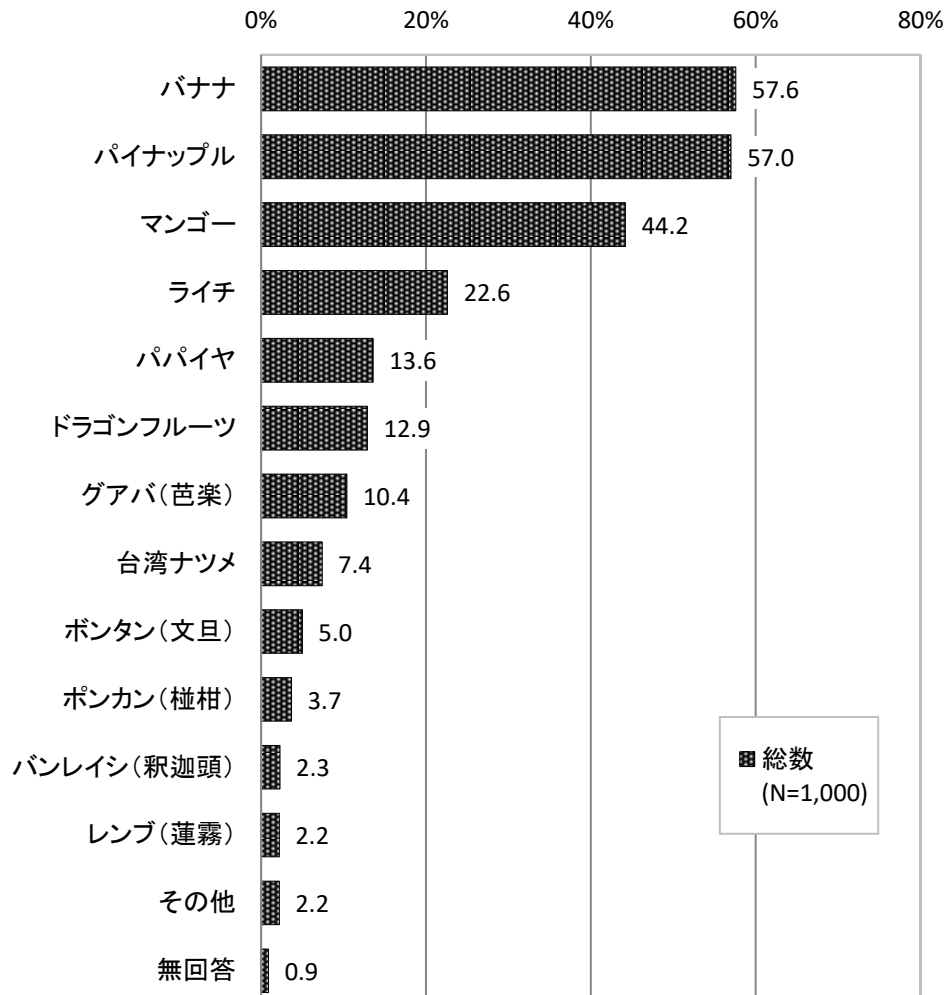
		総数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権問題	台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)による日本への影響	台湾が福島県周辺の食品の輸入を制限している問題	
総数		1,000	8.2	6.8	6.4	4.7	2.3	40.7	4.4	
性別	男性	488	9.0	6.8	8.2	4.1	2.9	43.9	3.9	
	女性	512	7.4	6.8	4.7	5.3	1.8	37.7	4.9	
年代	20歳代	118	9.3	12.7	11.0	4.2	0.8	29.7	2.5	
	30歳代	141	12.1	10.6	8.5	5.0	2.8	29.8	3.5	
	40歳代	182	5.5	4.9	7.7	6.6	3.8	35.7	1.6	
	50歳代	156	8.3	7.7	5.8	4.5	3.2	42.9	3.8	
	60歳代	157	8.9	3.8	3.2	5.7	1.9	52.9	5.7	
	70歳代	156	6.4	4.5	4.5	1.9	0.6	57.7	7.1	
	80歳代	90	7.8	4.4	4.4	4.4	2.2	27.8	7.8	
最終学歴	中学校	49	4.1	10.2	8.2	4.1	2.0	12.2	6.1	
	高等学校	308	8.4	6.5	3.9	4.5	1.9	41.9	4.5	
	短大・高専・専門学校	203	6.9	6.9	7.4	5.4	2.0	34.5	4.4	
	大学・大学院	437	9.2	6.6	7.6	4.6	2.7	46.2	3.9	
職業	事務職	183	8.7	9.3	6.6	9.8	2.2	37.7	2.2	
	管理職	79	12.7	6.3	7.6	2.5	2.5	38.0	2.5	
	専門的・技術職	130	5.4	9.2	10.0	3.8	3.1	38.5	2.3	
	販売・サービス職	76	11.8	7.9	7.9	2.6	5.3	32.9	2.6	
	技能・労務職	69	11.6	4.3	8.7	5.8	4.3	42.0	1.4	
	農林漁業	11	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0	45.5	0.0	
	主婦・主夫	242	8.3	7.0	2.9	4.1	1.7	43.8	6.6	
	学生	15	6.7	0.0	20.0	6.7	0.0	26.7	6.7	
	無職	195	5.1	3.6	5.6	2.1	1.0	45.6	7.7	
	地域	北海道	45	8.9	0.0	6.7	8.9	0.0	42.2	4.4
		東北	70	11.4	4.3	4.3	1.4	0.0	41.4	2.9
関東		344	8.1	5.5	5.8	6.7	3.5	43.3	4.1	
中部		165	7.3	7.3	5.5	4.8	4.2	43.6	4.8	
近畿		176	6.8	9.1	8.0	1.7	1.7	36.9	4.0	
中国		57	1.8	8.8	7.0	3.5	0.0	52.6	5.3	
四国		31	12.9	0.0	9.7	9.7	3.2	16.1	6.5	
九州		112	11.6	11.6	7.1	2.7	0.0	33.9	5.4	
参考:2020年11月(総数)		1,000	9.9	6.7	9.6	4.8	1.1	37.5	4.4	

		総数	その他	ない	無回答	
総数		1,000	1.0	24.4	1.1	
性別	男性	488	0.4	20.3	0.6	
	女性	512	1.6	28.3	1.6	
年代	20歳代	120	0.0	29.7	0.0	
	30歳代	142	0.0	27.7	0.0	
	40歳代	183	2.2	31.9	0.0	
	50歳代	156	1.3	22.4	0.0	
	60歳代	163	1.3	16.6	0.0	
	70歳代	148	1.3	16.0	0.0	
	80歳代	88	0.0	28.9	12.2	
最終学歴	中学校	40	0.0	40.8	12.2	
	高等学校	318	1.6	25.3	1.3	
	短大・高専・専門学校	210	2.0	30.5	0.0	
	大学・大学院	426	0.2	18.8	0.2	
職業	事務職	200	0.5	23.0	0.0	
	管理職	74	0.0	27.8	0.0	
	専門的・技術職	138	1.5	25.4	0.8	
	販売・サービス職	77	1.3	27.6	0.0	
	技能・労務職	61	0.0	21.7	0.0	
	農林漁業	12	9.1	9.1	9.1	
	主婦・主夫	245	1.2	23.1	1.2	
	学生	18	0.0	33.3	0.0	
	無職	175	1.0	25.1	3.1	
	地域	北海道	43	0.0	28.9	0.0
		東北	71	5.7	27.1	1.4
関東		341	0.3	22.1	0.6	
中部		167	0.0	20.6	1.8	
近畿		177	1.1	29.0	1.7	
中国		58	1.8	19.3	0.0	
四国		31	0.0	38.7	3.2	
九州		112	1.8	25.0	0.9	
参考:2020年11月(総数)		1,000	1.1	22.9	2.0	



## 台湾産の果物への興味

問18 今年3月、中国が台湾産パイナップルの輸入を禁止しましたが、これをきっかけに台湾産パイナップルの日本での販売が拡大するなど、台湾産の果物が話題になっています。台湾産の果物の中で、あなたはどれに興味がありますか。(複数回答可)



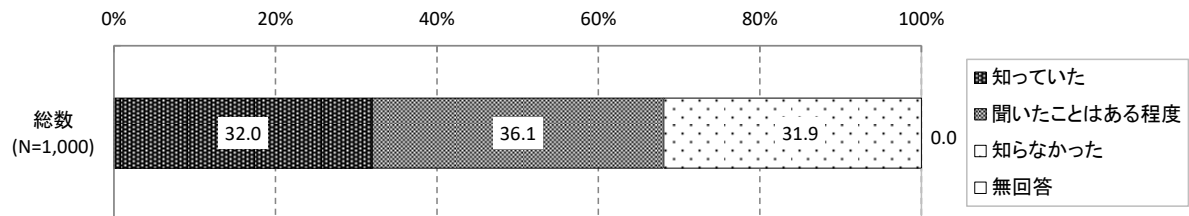
今年3月、中国が台湾産パイナップルの輸入を禁止したことをきっかけに台湾産パイナップルの日本での販売が拡大するなど、台湾産の果物が話題になっているが、台湾産の果物の中で、どれに興味があるか聞いたところ、「バナナ」と答えた者の割合が最も高く、57.6%だった。以下、「パイナップル」57.0%、「マンゴー」44.2%、「ライチ」22.6%、「パパイア」13.6%、「ドラゴンフルーツ」12.9%、「グアバ(芭楽)」10.4%、「台湾ナツメ」7.4%、「ボンタン(文旦)」5.0%、「ポンカン(椛柑)」3.7%、「バンレイシ(釈迦頭)」2.3%、「レンブ(蓮霧)」2.2%となっている。

		総数	バナナ	マンゴー	パイナップル	ライチ	ボンカン (椪柑)	パパイヤ	ドラゴンフ ルーツ	台湾ナツメ	ボンタン (文旦)
総数		1,000	57.6	44.2	57.0	22.6	3.7	13.6	12.9	7.4	5.0
性別	男性	488	60.9	43.6	56.8	18.4	3.9	15.4	13.5	7.4	4.5
	女性	512	54.5	44.7	57.2	26.6	3.5	11.9	12.3	7.4	5.5
年代	20歳代	118	32.2	44.1	58.5	18.6	2.5	8.5	13.6	8.5	4.2
	30歳代	141	35.5	46.1	57.4	19.9	4.3	9.9	14.9	8.5	5.7
	40歳代	182	58.2	46.7	57.1	24.7	3.8	13.2	16.5	6.6	4.9
	50歳代	156	60.9	45.5	52.6	23.7	4.5	13.5	16.0	7.7	5.1
	60歳代	157	67.5	45.9	62.4	28.7	3.8	14.0	8.9	9.6	4.5
	70歳代	156	74.4	45.5	59.6	23.7	1.9	19.9	12.2	5.1	3.8
	80歳代	90	72.2	28.9	47.8	13.3	5.6	15.6	4.4	5.6	7.8
	最終 学歴	中学校	49	69.4	26.5	42.9	12.2	0.0	6.1	4.1	6.1
	高等学校	308	58.4	39.9	54.5	21.4	4.9	12.3	12.7	8.4	4.2
	短大・高専・専門学校	203	58.6	41.4	51.7	22.7	2.5	14.8	13.8	7.9	6.4
	大学・大学院	437	54.9	50.3	63.2	24.7	3.9	14.9	13.7	6.6	5.3
職業	事務職	183	49.2	49.2	49.2	24.0	3.8	14.8	12.6	6.0	4.9
	管理職	79	51.9	53.2	65.8	25.3	5.1	16.5	15.2	6.3	3.8
	専門的・技術職	130	51.5	49.2	59.2	22.3	4.6	13.8	20.0	11.5	8.5
	販売・サービス職	76	53.9	39.5	57.9	21.1	5.3	9.2	18.4	10.5	3.9
	技能・労務職	69	50.7	37.7	60.9	17.4	2.9	13.0	14.5	13.0	2.9
	農林漁業	11	72.7	36.4	27.3	9.1	9.1	9.1	0.0	27.3	9.1
	主婦・主夫	242	62.0	44.2	61.2	28.1	3.3	12.4	10.3	4.5	3.7
	学生	15	33.3	46.7	66.7	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7
	無職	195	71.3	36.9	53.3	17.9	2.6	15.4	9.7	5.6	5.6
	地域	北海道	45	60.0	51.1	64.4	33.3	0.0	17.8	11.1	4.4
	東北	70	65.7	37.1	58.6	15.7	4.3	10.0	15.7	10.0	4.3
	関東	344	54.1	46.8	57.6	24.1	2.9	14.5	12.5	7.3	4.7
	中部	165	59.4	46.7	55.8	24.8	3.6	11.5	14.5	9.1	4.8
	近畿	176	57.4	43.2	52.8	23.3	5.7	11.4	11.4	5.7	5.1
	中国	57	61.4	40.4	57.9	15.8	1.8	19.3	8.8	5.3	5.3
	四国	31	67.7	32.3	48.4	6.5	0.0	6.5	9.7	3.2	0.0
	九州	112	55.4	41.1	61.6	21.4	6.3	17.0	16.1	9.8	9.8

		総数	バンレイシ (釈迦頭)	レンブ (蓮霧)	グアバ (芭樂)	その他	無回答
総数		1,000	2.3	2.2	10.4	2.2	0.9
性別	男性	488	2.0	2.5	10.2	1.8	1.2
	女性	512	2.5	2.0	10.5	2.5	0.6
年代	20歳代	118	2.5	4.2	9.3	4.2	0.0
	30歳代	141	2.8	2.8	9.9	2.1	0.0
	40歳代	182	2.2	2.7	12.1	3.8	0.0
	50歳代	156	2.6	2.6	15.4	3.2	0.0
	60歳代	157	3.2	1.9	13.4	1.3	0.0
	70歳代	156	1.3	0.6	7.1	0.0	0.0
	80歳代	90	1.1	0.0	1.1	0.0	10.0
	最終 学歴	中学校	49	2.0	2.0	2.0	4.1
	高等学校	308	3.6	3.2	7.1	2.9	1.3
	短大・高専・専門学校	203	2.0	2.0	10.3	3.0	0.0
	大学・大学院	437	1.6	1.6	13.7	1.1	0.0
職業	事務職	183	1.1	1.6	11.5	1.6	0.0
	管理職	79	3.8	2.5	15.2	1.3	0.0
	専門的・技術職	130	3.1	3.8	20.0	0.8	0.0
	販売・サービス職	76	2.6	2.6	7.9	3.9	0.0
	技能・労務職	69	2.9	2.9	8.7	4.3	0.0
	農林漁業	11	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	主婦・主夫	242	2.1	1.2	8.3	3.3	0.4
	学生	15	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0
	無職	195	2.6	2.1	6.2	1.0	4.1
	地域	北海道	45	0.0	0.0	2.2	2.2
	東北	70	0.0	0.0	5.7	2.9	1.4
	関東	344	1.5	1.7	11.9	2.0	0.6
	中部	165	2.4	1.8	12.1	1.8	0.6
	近畿	176	1.7	1.1	9.7	3.4	1.7
	中国	57	5.3	7.0	8.8	1.8	0.0
	四国	31	0.0	0.0	3.2	3.2	0.0
	九州	112	7.1	6.3	13.4	0.9	0.9

## 自然災害等の際の日本と台湾の相互支援と双方の政府トップによる SNS を通じたメッセージ発信を知っているか

問 19 近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っており、新型コロナウイルス感染症に関しても、ワクチンや医療器材、マスク等の提供を相互に行うなど協力し合っています。また、政府のトップも Facebook やツイッター等の SNS を通じて双方の国民に向けたお見舞いや励まし、感謝の言葉を寄せています。あなたは、このことを知っていましたか。  
(答えは1つ)



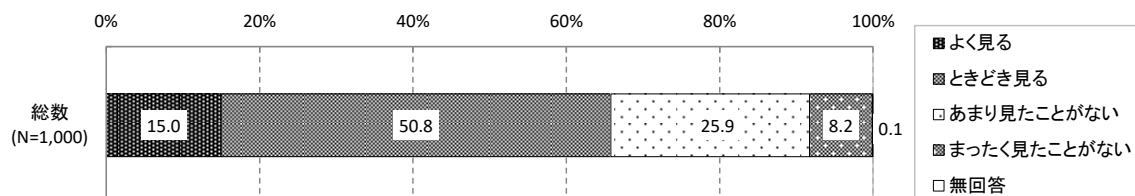
近年の日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に相互支援を行うとともに、双方の政府のトップも SNS を通じてお見舞いや励まし、感謝の言葉を寄せていることを知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えたのは 32.0%、「聞いたことはある程度」と答えたのは 36.1%、「知らなかった」と答えたのは 31.9% だった。

		総数	知っていた	聞いたことはある程度	知らなかった	無回答
総数		1,000	32.0	36.1	31.9	0.0
性別	男性	488	37.1	36.5	26.4	0.0
	女性	512	27.1	35.7	37.1	0.0
年代	20歳代	118	20.3	35.6	44.1	0.0
	30歳代	141	26.2	34.0	39.7	0.0
	40歳代	182	25.3	33.5	41.2	0.0
	50歳代	156	32.1	35.9	32.1	0.0
	60歳代	157	41.4	36.9	21.7	0.0
	70歳代	156	38.5	42.3	19.2	0.0
	80歳代	90	42.2	33.3	24.4	0.0
最終学歴	中学校	49	20.4	32.7	46.9	0.0
	高等学校	308	29.2	36.0	34.7	0.0
	短大・高専・専門学校	203	26.6	36.9	36.5	0.0
	大学・大学院	437	37.8	36.4	25.9	0.0
職業	事務職	183	29.0	39.3	31.7	0.0
	管理職	79	41.8	34.2	24.1	0.0
	専門的・技術職	130	32.3	43.1	24.6	0.0
	販売・サービス職	76	23.7	26.3	50.0	0.0
	技能・労務職	69	21.7	34.8	43.5	0.0
	農林漁業	11	18.2	63.6	18.2	0.0
	主婦・主夫	242	34.3	35.1	30.6	0.0
	学生	15	33.3	20.0	46.7	0.0
	無職	195	35.4	34.4	30.3	0.0
地域	北海道	45	33.3	44.4	22.2	0.0
	東北	70	25.7	41.4	32.9	0.0
	関東	344	33.1	35.2	31.7	0.0
	中部	165	37.0	34.5	28.5	0.0
	近畿	176	27.8	36.9	35.2	0.0
	中国	57	33.3	40.4	26.3	0.0
	四国	31	16.1	35.5	48.4	0.0
九州	112	34.8	31.3	33.9	0.0	
参考: 2020年11月(総数)※		1,000	20.3	34.4	45.2	0.1

※2020年11月調査では、「今年の新型コロナウイルス感染症に関することを含め、近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っています、政府のトップもFacebookやツイッター等のSNSを通じて双方の国民に向けたお見舞いや励ましの言葉を寄せています。あなたは、このことを知っていましたか。」と質問した。

## 今年、台湾に関する番組や報道を目にしたか

問20 今年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがありますか。(答えは1つ)



今年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがあるか聞いたところ、「よく見る」と答えたのは15.0%、「ときどき見る」と答えたのは50.8%、「あまり見たことがない」と答えたのは25.9%、「まったく見たことがない」と答えたのは8.2%だった。

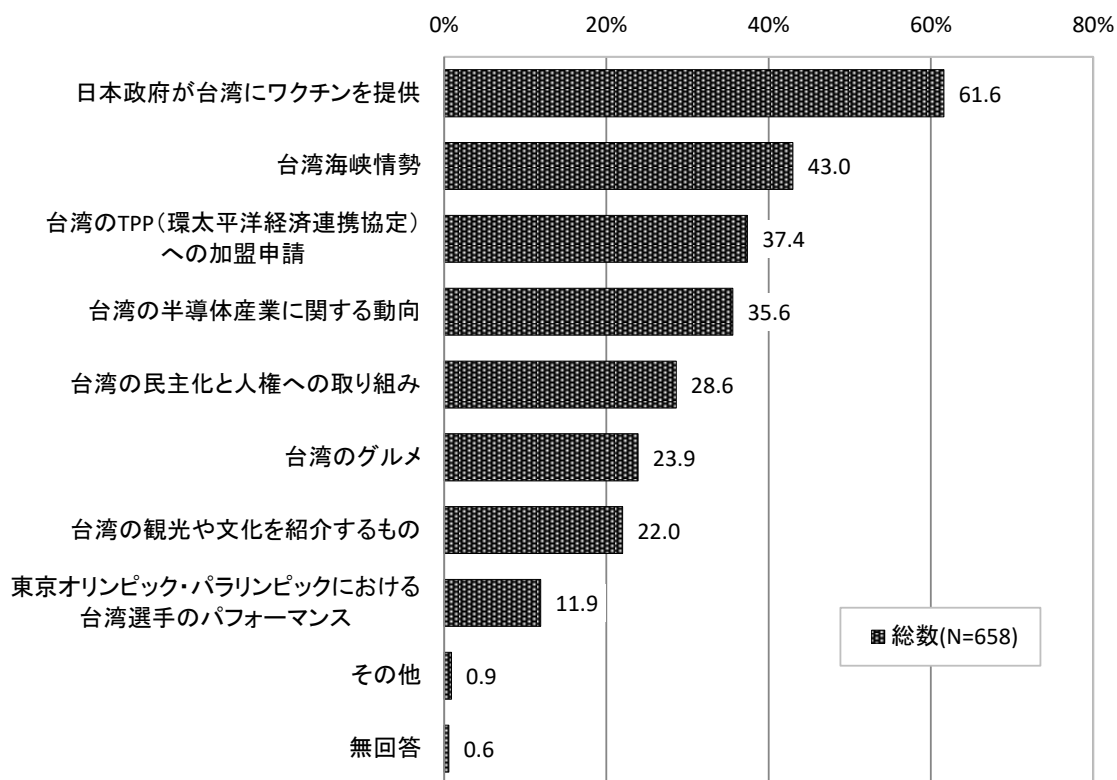
小計でみると、「見たことがある(計)」「よく見る」+「ときどき見る」と答えた者の割合は65.8%となっている。

		総数	よく見る	ときどき見る	あまり見たことがない	まったく見たことがない	無回答
総数		1,000	15.0	50.8	25.9	8.2	0.1
性別	男性	488	20.5	52.3	19.5	7.6	0.2
	女性	512	9.8	49.4	32.0	8.8	0.0
年代	20歳代	118	9.3	39.8	33.9	16.9	0.0
	30歳代	141	9.2	44.7	34.0	12.1	0.0
	40歳代	182	11.0	48.9	30.2	9.9	0.0
	50歳代	156	7.7	57.7	28.2	6.4	0.0
	60歳代	157	24.2	55.4	17.8	2.5	0.0
	70歳代	156	23.7	57.1	17.3	1.9	0.0
	80歳代	90	21.1	47.8	18.9	11.1	1.1
最終学歴	中学校	49	10.2	28.6	36.7	24.5	0.0
	高等学校	308	15.3	49.0	26.3	9.1	0.3
	短大・高専・専門学校	203	9.9	47.3	33.0	9.9	0.0
	大学・大学院	437	17.8	56.1	21.3	4.8	0.0
職業	事務職	183	10.9	49.7	28.4	10.9	0.0
	管理職	79	29.1	53.2	11.4	6.3	0.0
	専門的・技術職	130	10.8	61.5	22.3	5.4	0.0
	販売・サービス職	76	6.6	44.7	36.8	11.8	0.0
	技能・労務職	69	14.5	39.1	31.9	14.5	0.0
	農林漁業	11	9.1	45.5	27.3	18.2	0.0
	主婦・主夫	242	12.8	53.7	26.9	6.6	0.0
	学生	15	13.3	53.3	33.3	0.0	0.0
無職	195	22.6	46.7	23.6	6.7	0.5	
地域	北海道	45	13.3	51.1	26.7	8.9	0.0
	東北	70	15.7	48.6	30.0	5.7	0.0
	関東	344	15.7	48.8	27.3	7.8	0.3
	中部	165	17.0	50.9	24.8	7.3	0.0
	近畿	176	12.5	52.3	26.1	9.1	0.0
	中国	57	12.3	63.2	15.8	8.8	0.0
	四国	31	9.7	45.2	29.0	16.1	0.0
九州	112	17.0	50.9	24.1	8.0	0.0	
参考:2020年11月(総数)※		1,000	5.1	34.7	42.8	17.2	0.2

※2020年11月調査では、「今年、台湾の観光や文化を紹介するテレビ・ラジオ番組または新聞・雑誌の報道を見たことがありますか」と質問した。

## 印象に残った台湾に関する報道

問 20 付問 あなたは、どのような報道が強く印象に残りましたか。(複数回答可)



今年、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがある者に、どのような報道が強く印象に残ったか聞いたところ、「日本政府が台湾にワクチンを提供」をあげた者の割合が最も高く、61.6%だった。以下、「台湾海峡情勢」43.0%、「台湾のTPP(環太平洋経済連携協定)への加盟申請」37.4%、「台湾の半導体産業に関する動向」35.6%、「台湾の民主化と人権への取り組み」28.6%、「台湾のグルメ」23.9%、「台湾の観光や文化を紹介するもの」22.0%、「東京オリンピック・パラリンピックにおける台湾選手のパフォーマンス」11.9%となっている。

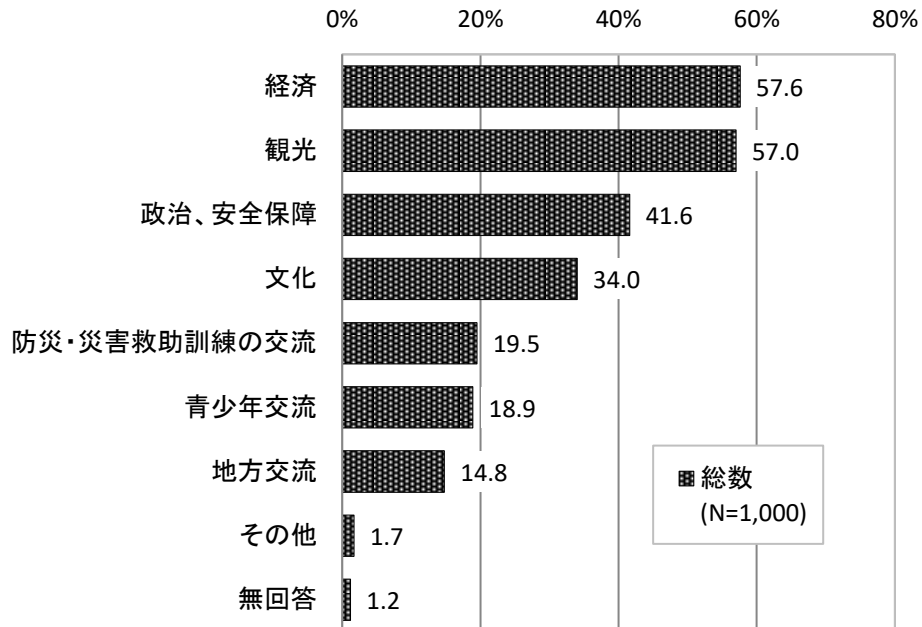
性別にみると、「台湾海峡情勢」、「台湾のTPP(環太平洋経済連携協定)への加盟申請」、「台湾の半導体産業に関する動向」をあげた者の割合は男性で、「台湾のグルメ」、「台湾の観光や文化を紹介するもの」は女性で高くなっている。

		該当数	台湾海峡情勢	日本政府が台湾にフクチンを提供	台湾の半導体産業に関する動向	台湾のTPP（環太平洋経済連携協定）への加盟申請	東京オリンピック・パラリンピックにおける台湾選手のパフォーマンス	台湾の民主化と人権への取り組み	台湾の観光や文化を紹介するもの	台湾のグルメ
総数		658	43.0	61.6	35.6	37.4	11.9	28.6	22.0	23.9
性別	男性	355	56.3	60.3	46.8	46.5	12.7	31.3	19.4	18.3
	女性	303	27.4	63.0	22.4	26.7	10.9	25.4	25.1	30.4
年代	20歳代	58	24.1	56.9	27.6	25.9	15.5	12.1	13.8	19.0
	30歳代	76	26.3	61.8	23.7	30.3	15.8	23.7	19.7	17.1
	40歳代	109	33.0	58.7	28.4	32.1	8.3	16.5	13.8	28.4
	50歳代	102	48.0	62.7	41.2	35.3	10.8	21.6	25.5	27.5
	60歳代	125	47.2	55.2	37.6	44.8	9.6	29.6	22.4	23.2
	70歳代	126	61.9	69.0	46.8	47.6	11.1	44.4	26.2	19.8
	80歳代	62	43.5	66.1	33.9	33.9	17.7	48.4	32.3	32.3
最終学歴	中学校	19	31.6	57.9	31.6	26.3	15.8	26.3	42.1	26.3
	高等学校	198	46.5	63.6	34.8	31.8	11.1	31.3	26.3	23.7
	短大・高専・専門学校	116	32.8	58.6	30.2	32.8	10.3	30.2	20.7	31.9
	大学・大学院	323	45.5	61.6	38.1	43.3	12.7	26.6	18.9	20.7
職業	事務職	111	32.4	62.2	28.8	32.4	14.4	19.8	19.8	27.9
	管理職	65	58.5	56.9	49.2	46.2	9.2	21.5	26.2	21.5
	専門的・技術職	94	30.9	60.6	33.0	39.4	14.9	19.1	18.1	21.3
	販売・サービス職	39	38.5	56.4	23.1	23.1	12.8	33.3	23.1	17.9
	技能・労務職	37	43.2	64.9	27.0	35.1	13.5	21.6	16.2	18.9
	農林漁業	6	33.3	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	33.3	33.3
	主婦・主夫	161	39.1	65.2	32.3	35.4	12.4	34.2	24.8	29.8
	学生	10	20.0	50.0	30.0	30.0	0.0	10.0	20.0	30.0
	無職	135	60.7	61.5	46.7	43.7	8.1	41.5	22.2	18.5
	地域	北海道	29	31.0	69.0	31.0	37.9	10.3	27.6	27.6
	東北	45	44.4	53.3	42.2	35.6	4.4	33.3	22.2	24.4
	関東	222	46.4	59.5	39.2	39.6	13.1	34.2	25.2	26.6
	中部	112	42.9	67.9	33.0	33.9	13.4	26.8	23.2	19.6
	近畿	114	38.6	59.6	29.8	36.8	8.8	29.8	19.3	26.3
	中国	43	44.2	67.4	30.2	37.2	16.3	23.3	11.6	20.9
	四国	17	52.9	64.7	29.4	35.3	17.6	11.8	17.6	17.6
	九州	76	40.8	59.2	39.5	38.2	11.8	17.1	19.7	21.1

		総数	その他	無回答
総数		658	0.9	0.6
性別	男性	355	0.6	0.0
	女性	303	1.3	1.3
年代	20歳代	58	5.2	0.0
	30歳代	76	1.3	0.0
	40歳代	109	0.0	0.0
	50歳代	102	0.0	0.0
	60歳代	125	1.6	0.0
	70歳代	126	0.0	0.0
	80歳代	62	0.0	6.5
最終学歴	中学校	19	0.0	10.5
	高等学校	198	0.5	1.0
	短大・高専・専門学校	116	1.7	0.0
	大学・大学院	323	0.9	0.0
職業	事務職	111	0.9	0.0
	管理職	65	0.0	0.0
	専門的・技術職	94	2.1	0.0
	販売・サービス職	39	2.6	0.0
	技能・労務職	37	0.0	2.7
	農林漁業	6	16.7	0.0
	主婦・主夫	161	0.6	0.6
	学生	10	0.0	0.0
	無職	135	0.0	1.5
	地域	北海道	29	3.4
	東北	45	4.4	2.2
	関東	222	0.9	0.5
	中部	112	0.9	0.9
	近畿	114	0.0	0.0
	中国	43	0.0	0.0
	四国	17	0.0	5.9
	九州	76	0.0	0.0

## 力を入れて行うべき交流の分野

問 2 1 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思いませんか。  
(複数回答可)



日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思うか聞いたところ、「経済」をあげた者の割合が最も高く、57.6%だった。以下、「観光」57.0%、「政治、安全保障」41.6%、「文化」34.0%、「防災・災害救助訓練の交流」19.5%、「青少年交流」18.9%、「地方交流」14.8%となっている。

性別にみると、男性では「経済」が1位、女性では「観光」が1位となっている。

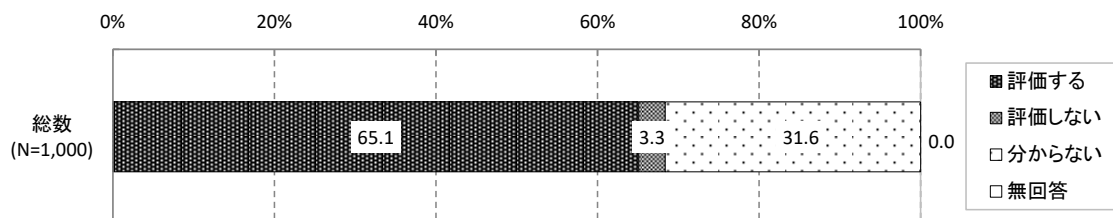
		総数	観光	経済	文化	青少年交流	政治、安全保障	地方交流	防災・災害救助訓練の交流
総数		1,000	57.0	57.6	34.0	18.9	41.6	14.8	19.5
性別	男性	488	58.2	62.3	34.6	20.7	46.1	15.6	20.3
	女性	512	55.9	53.1	33.4	17.2	37.3	14.1	18.8
年代	20歳代	118	44.9	48.3	35.6	15.3	30.5	16.9	11.9
	30歳代	141	61.0	56.7	38.3	16.3	35.5	10.6	15.6
	40歳代	182	52.7	58.8	28.6	9.3	35.7	12.1	13.7
	50歳代	156	55.8	52.6	32.7	16.0	43.6	12.2	18.6
	60歳代	157	62.4	64.3	30.6	20.4	45.9	13.4	19.7
	70歳代	156	62.2	67.3	36.5	22.4	57.7	16.7	23.7
	80歳代	90	58.9	48.9	40.0	43.3	38.9	27.8	41.1
	最終学歴	中学校	49	44.9	38.8	30.6	24.5	26.5	14.3
高等学校		308	60.1	56.2	30.8	20.1	42.2	17.2	24.0
短大・高専・専門学校		203	58.6	52.7	30.5	16.7	38.4	14.3	16.3
大学・大学院		437	55.1	63.2	38.2	18.3	44.6	13.5	16.7
職業	事務職	183	53.6	60.1	30.1	11.5	33.9	10.9	15.8
	管理職	79	54.4	73.4	43.0	21.5	50.6	12.7	16.5
	専門的・技術職	130	52.3	54.6	40.0	15.4	39.2	16.9	17.7
	販売・サービス職	76	53.9	55.3	26.3	14.5	40.8	13.2	13.2
	技能・労務職	69	62.3	55.1	31.9	21.7	46.4	18.8	21.7
	農林漁業	11	45.5	27.3	27.3	18.2	27.3	18.2	27.3
	主婦・主夫	242	61.2	54.1	32.6	19.0	45.5	13.6	19.8
	学生	15	60.0	40.0	33.3	33.3	26.7	13.3	20.0
	無職	195	59.0	60.0	35.9	26.7	42.6	18.5	26.2
	地域	北海道	45	66.7	57.8	33.3	33.3	48.9	17.8
東北		70	60.0	54.3	30.0	14.3	35.7	12.9	21.4
関東		344	58.1	59.9	36.9	22.1	45.3	14.0	19.5
中部		165	53.3	52.7	30.3	15.2	45.5	20.0	17.0
近畿		176	54.0	59.1	32.4	17.0	38.6	8.5	19.9
中国		57	56.1	61.4	28.1	8.8	36.8	12.3	10.5
四国		31	54.8	48.4	38.7	19.4	16.1	22.6	16.1
九州		112	58.9	58.0	37.5	19.6	39.3	18.8	25.0
参考: 2020年11月(総数)		1,000	61.5	56.7	38.0	22.7	39.5	14.7	-

		総数	その他	無回答
総数		1,000	1.7	1.2
性別	男性	488	1.4	0.6
	女性	512	2.0	1.8
年代	20歳代	118	0.8	0.0
	30歳代	141	0.7	0.0
	40歳代	182	4.4	0.0
	50歳代	156	3.8	0.0
	60歳代	157	0.6	0.0
	70歳代	156	0.0	0.0
	80歳代	90	0.0	13.3
	最終学歴	中学校	49	4.1
高等学校		308	1.9	1.3
短大・高専・専門学校		203	3.0	0.0
大学・大学院		437	0.7	0.5
職業	事務職	183	2.2	0.0
	管理職	79	0.0	0.0
	専門的・技術職	130	2.3	0.0
	販売・サービス職	76	2.6	0.0
	技能・労務職	69	1.4	0.0
	農林漁業	11	9.1	18.2
	主婦・主夫	242	1.7	0.4
	学生	15	0.0	0.0
	無職	195	1.0	4.6
	地域	北海道	45	4.4
東北		70	2.9	4.3
関東		344	1.2	0.3
中部		165	1.2	0.6
近畿		176	1.7	1.1
中国		57	1.8	1.8
四国		31	0.0	6.5
九州		112	2.7	1.8
参考: 2020年11月(総数)		1,000	1.1	2.3



## 台湾のTPP加盟への努力や主張に対する評価

問22 今年9月23日、台湾はTPP（環太平洋経済連携協定）への加盟を正式に申請したと発表しました。台湾はTPPへの加盟に向けて何年も準備し、加盟に求められる高い基準を満たしていると確信しています。また、加盟が実現すれば貿易だけではなく日本との産業連携の向上にも寄与すると主張しています。あなたは、このような台湾のTPP加盟への努力や主張を評価しますか。（答えは1つ）



今年9月に台湾がTPP（環太平洋経済連携協定）への加盟を正式に申請したことについて、台湾がTPPへの加盟に向けて何年も準備し、加盟に求められる高い基準を満たしていると確信していることおよび、加盟が実現すれば貿易だけではなく日本との産業連携の向上にも寄与すると主張していることを評価するかを聞いたところ、「評価する」と答えた者の割合が65.1%、「評価しない」3.3%、「分からない」31.6%となっている。

		総数	評価する	評価しない	分からない	無回答
総数		1,000	65.1	3.3	31.6	0.0
性別	男性	488	75.6	3.3	21.1	0.0
	女性	512	55.1	3.3	41.6	0.0
年代	20歳代	118	48.3	9.3	42.4	0.0
	30歳代	141	57.4	3.5	39.0	0.0
	40歳代	182	61.0	2.7	36.3	0.0
	50歳代	156	62.2	3.2	34.6	0.0
	60歳代	157	76.4	1.9	21.7	0.0
	70歳代	156	79.5	0.0	20.5	0.0
	80歳代	90	67.8	4.4	27.8	0.0
	最終学歴	中学校	49	49.0	8.2	42.9
高等学校		308	60.1	2.6	37.3	0.0
短大・高専・専門学校		203	55.2	3.9	40.9	0.0
大学・大学院		437	75.3	3.0	21.7	0.0
職業	事務職	183	61.2	5.5	33.3	0.0
	管理職	79	91.1	1.3	7.6	0.0
	専門的・技術職	130	66.9	3.8	29.2	0.0
	販売・サービス職	76	57.9	1.3	40.8	0.0
	技能・労務職	69	62.3	7.2	30.4	0.0
	農林漁業	11	54.5	9.1	36.4	0.0
	主婦・主夫	242	61.6	1.2	37.2	0.0
	学生	15	33.3	6.7	60.0	0.0
	無職	195	68.2	3.1	28.7	0.0
	地域	北海道	45	64.4	6.7	28.9
東北		70	62.9	5.7	31.4	0.0
関東		344	66.9	2.3	30.8	0.0
中部		165	70.9	2.4	26.7	0.0
近畿		176	58.0	4.5	37.5	0.0
中国		57	68.4	3.5	28.1	0.0
四国		31	61.3	6.5	32.3	0.0
九州		112	63.4	1.8	34.8	0.0

## ◎ 結論

以下では、調査結果を「台湾に対する親しみ・信頼」、「台湾に対する関心のあり方」、「訪台経験」、「台湾に関する知識と情報」、「日本と台湾の関係」、「台湾のTPP加盟への努力や主張に対する評価」という6つの観点から、2020年11月調査の結果との比較を交えながら考察した。

### 1 台湾に対する親しみ・信頼

台湾に対して親しみを感じるか聞いたところ、75.9%の者が親しみを感じており<sup>1</sup>（問7）、その主な理由としては「台湾人が親切、友好的」が77.1%、「歴史的に交流が長い」が45.7%などとなっている（問8）。2020年調査で主な理由の5位だった「経済的な結びつきが強い」が今回は3位となっている他、順位の変動があるが各選択肢の回答率に大きな変化はなく、ほぼ同様の結果であった。台湾人に対する見方に大きな変化はなく、引き続き好意的なイメージで見られているといえる。

一方、親しみを感じない<sup>2</sup>と答えたのは6.7%だった（問7）。親しみを感じない理由としては、「台湾についての知識や関心がない」が73.1%と多数となっており、親しみを感じていない者に特に具体的な強い理由はないことが分かる（問9）。

信頼感についても「親しみ」と同様の傾向が見られ、64.8%が「信頼できる」<sup>3</sup>と答えている（問11）。その理由としては、「日本に友好的だから」をあげた者が65.9%と最も多く、次いで「自由・民主主義などの価値観を有している」が56.9%と多かった（問12）。一方、信頼できない<sup>4</sup>と考えている者は2.4%と、2016年調査からの結果では2020年調査に次いで2番目に少数だった（問11）。

アジア諸国間での位置づけをみるため「台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム・それ以外」を選択肢として、どの国にもっとも親しみを感じるか聞いたところ、「台湾」と答えた者の割合が46.6%と最も高かった（問1）。2016年調査から続けて台湾が最も選ばれている。

総じて、日本人の台湾に対する信頼感、親しみを感じる程度は高く、東アジア諸国間の中でも特に親しみを感じる者が多いことが伺える。これらは2020年調査でもっとも親しみを感じるアジアの国として台湾をあげた者が約5割、「親しみを感じる」が約8割、「信頼できる」が6割台といずれも多数であったのと同様の傾向であった。2016年調査から通して見ても傾向に大きな変化はなく、安定して親しみ・信頼を得、良好なイメージを保っているといえる。

---

1 問7：「親しみを感じる」+「どちらかという親しみを感じる」の合計

2 問7：「親しみを感じない」+「どちらかという親しみを感じない」の合計

3 問11：「非常に信頼できる」+「信頼できる」の合計

4 問11：「信頼できない」+「非常に信頼できない」の合計

## 2 台湾に対する関心のあり方

台湾と聞いて思いつくことを答えてもらったところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、78.9%だった（問2）。続いて「食べ物おいしい」が47.3%、「日本と歴史的なつながりがある」が43.4%、「観光地が豊富」31.6%の順で、2020年調査と同順位であった。男性では、「自由・民主主義の国」、「経済が発展している」、「半導体産業が世界に注目されている」といった政治経済に関するイメージもあげている者の割合が高い。2020年調査に続き、「新型コロナウイルス感染症の拡大を効果的に封じ込めている」も4人に1人が挙げており、関心を集めていることがわかる。

新型コロナウイルスの影響が弱まって出入国制限が解除されたらという前提で、今後台湾に「行きたい」と回答した者は約半数の47.8%だった。「行きたくない」と答えた者は17.5%と低かった（問5）。2020年調査に続いて2019年以前よりやや低いですが、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中でも依然約2人に1人が訪台に興味を示した。

「行きたい」と答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者が8割で最も高かった。興味がある分野の2位は「自然・風土」（52.9%）、3位は「歴史・史跡・寺廟」（51.9%）で、いずれもすべての年代で4割以上と興味が高かった。2020年調査で「食文化」、「自然・風土」、「歴史・史跡・寺廟」の順位であったのと同様となった。

輸入販売が拡大している台湾産の果物への興味を尋ねたところ、「バナナ」、「パイナップル」をあげた者が約6割と特に多く、「マンゴー」、「ライチ」も比較的高い関心を集めている（問18）。

全体として、主に食や娯楽面、歴史や風土の面で関心を引いており、約半数が観光意欲を持っていることが分かる。

## 3 訪台経験

これまでに台湾に行ったことがあるか聞いたところ、26.5%の者が「行ったことがある」と回答した（問3）。訪台経験のある者に、その回数を聞いたところ、「1回」と答えた者が58.5%、「2回」と答えた者が17.0%、「3～4回」と答えた者が15.5%、「5～9回」と答えた者が5.3%、「10回以上」と答えた者が3.8%だった。（問3付問1）。

訪台経験のある者に、台湾を訪れた後の台湾に対する印象の変化をたずねたところ、「良くなった」と回答した者の割合が65.3%、「変わらない」が33.2%で、「悪くなった」は1.1%とわずかだった。（問3付問2）。

訪台経験のある者に、訪れたことのある場所を聞いたところ、「台北」をあげた者の割合が最も高く、94.7%だった。次いで、「高雄」35.8%、「台中」34.3%などとなっており（問4）、2020年調査での上位3位と同様であった。

総合すると、約4人に1人が台湾に1度は行ったことがあり、約7割が台湾に対する印象が良くなったこと、また、訪台経験者のうちほぼ全員が台北を訪れており、高雄や台中がポピュラーな行先であることが分かる。

## 4 台湾に関する知識と情報

台湾に関する知識として、「台北駐日経済文化代表処」、「自然災害時等の相互支援と日台政府トップによるSNSを通じたお見舞い等の発信」について知っているか、および「台湾に関する情報源」、「台湾に関する情報との接触」について聞いた。

台北駐日経済文化代表処を「知っている」と答えた者は5.9%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えた者は24.7%、「知らない」と答えた者は69.4%だった。(問14)。2020年調査で「知っている」と答えた者が6.5%、「知らない」と答えた者が67.9%であったのと同様の傾向である。

近年の日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に相互支援を行うとともに、双方の政府のトップもSNSを通じてお見舞いや励まし、感謝の言葉を寄せていることを知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えた者は32.0%、「聞いたことはある程度」と答えた者は36.1%、「知らなかった」と答えた者は31.9%だった。2020年調査で「知っていた」と答えた者は20.3%、「聞いたことはある程度」と答えた者は34.4%、「知らなかった」と答えた者は45.2%であったの比べ、2021年調査では認知度が高くなっている(問19)。

台湾に関する情報源について尋ねたところ、「テレビ」を挙げた者が71.6%と最も多く、続いて「インターネット(ニュースサイト、YouTube、ブログなど)」が43.3%と多数であった(問10)。

テレビで台湾に関する情報を得ている者に、台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンルを尋ねたところ、「ニュース」を挙げた者が8割と圧倒的に多かった(問10付問)。

台湾に関する情報との接触について、今年は、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがあるか聞いたところ、65.8%が「見たことがある」<sup>5</sup>と答えた(問20)。

今年台湾に関する報道を見たことがある者に、強く印象に残った報道を尋ねたところ、「日本政府が台湾にワクチンを提供」をあげた者が61.6%で最も多く、続いて「台湾海峡情勢」、「台湾のTPP(環太平洋経済連携協定)への加盟申請」、「台湾の半導体産業に関する動向」が上位であった。(問20付問1)

総合すると、日本人は台湾に関する情報を主にテレビやそのニュースを通して得ており、今年は6割以上の人々が台湾に関する報道に接していること、特に日本政府によるワクチン提供は日本人に台湾との関係性を強く印象付け、相互支援やSNSでのメッセージ発信の認知も高まったことがうかがえる。台湾海峡情勢とともに台湾の半導体産業やTPP加盟申請も注目されており、台湾の政治、経済の動向を気にしている人が多いことが分かる。

<sup>5</sup> 問20:「よく見る」+「ときどき見る」の合計

## 5 日本と台湾の関係

現在の日本と台湾の関係について聞いたところ、71.4%が「よい」<sup>6</sup>と答えた（問15）。日本と台湾の今後の関係については、「発展する」<sup>7</sup>と答えた者が59.6%だった（問16）。両項目について、年代別にみても「よい」、「発展する」という回答が多い傾向であり、2020年調査での「よい」73.6%、「発展する」63.7%から大きな変化はみられない。

日台間で最も懸念される問題について聞いたところ、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」と答えた者が40.7%で最も多く、次に「（問題は）ない」と答えた者が24.4%で多かった（問17）。3位以下は「漁業問題」、「経済面での競合関係」、「領土問題」と続くが、いずれも回答した者の割合は10%未満となっている。

日本と台湾が力を入れて行うべき交流の分野を聞いたところ、「経済」をあげた者の割合が57.6%と最も高かった。次いで、「観光」57.0%、「政治、安全保障」41.6%などとなっている（問21）。2020年調査で「観光」、「経済」、「政治、安全保障」が上位であったのと概ね同じ順位となった。

全体的にみると、2020年調査結果にみられた傾向を引き継いでおり、現在の日本と台湾の関係を良好であると捉える者が多数であり、今後についても、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」をはじめとする懸念事項はあるものの、多くの者が「関係は発展する」と考える傾向にあることが読み取れる。

## 6 台湾のTPP加盟への努力や主張に対する評価

今年9月に台湾がTPP（環太平洋経済連携協定）への加盟を正式に申請したことについて、台湾がTPPへの加盟に向けて何年も準備し、加盟に求められる高い基準を満たしていると確信していることおよび、加盟が実現すれば貿易だけではなく日本との産業連携の向上にも寄与すると主張していることを評価するかを尋ねたところ、65.1%が「評価する」と答え、「評価しない」と答えたのはわずか3.3%となり、残る3割は「分からない」と答えた（問22）。6割を超える日本人が台湾はTPP加盟に値すると評価し、日本にとってもメリットがあると捉えていることが分かる。

---

<sup>6</sup> 問15：「よい」＋「どちらかといえばよい」の合計

<sup>7</sup> 問16：「発展する」＋「ある程度発展する」の合計

◎ 2021年11月調査項目一覧

質問	選択肢
問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感じるのはどこですか。 (答えは1つ)	1 台湾 2 中国 3 韓国 4 タイ 5 シンガポール 6 フィリピン 7 ベトナム 8 上記以外
<b>【問1で「8 上記以外」と答えた方に】</b> 問1付問 具体的にどの国・地域ですか。	自由回答
問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。 (複数回答可)	1 日本に友好的 2 自由・民主主義の国 3 経済が発展している 4 食べ物がおいしい 5 観光地が豊富 6 日本と歴史的なつながりがある 7 台湾製の商品は良い 8 多くの台湾人観光客が日本を訪れている 9 台湾は多様な文化を有している 10 新型コロナウイルスの感染拡大を効果的に封じ込めている 11 半導体産業が世界に注目されている 12 その他
問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。 (答えは1つ)	1 ある 2 ない
<b>【問3で「1 ある」と答えた方に】</b> 問3付問1 あなたは、これまでに何度台湾を訪れましたか。 (答えは1つ)	1 1回 2 2回 3 3～4回 4 5～9回 5 10回以上
<b>【問3で「1 ある」と答えた方に】</b> 問3付問2 台湾に行った後、あなたの台湾に対する印象はどのように変わりましたか。(答えは1つ)	1 良くなった 2 悪くなった 3 変わらない

質問	選択肢
<p>【問3で「1ある」と答えた方に】</p> <p>問4 あなたがこれまでに訪れたことのある地域を次の中からすべてお答えください。 (複数回答可)</p>	<p>1 台北 2 新北 3 新竹 4 台中 5 南投 6 嘉義 7 台南 8 高雄 9 屏東 10 台東 11 花蓮 12 台湾本島以外の離島 13 その他</p>
<p>問5 今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、あなたは台湾に行きたいですか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 行きたい 2 どちらともいえない 3 行きたくない</p>
<p>【問5で「1行きたい」と答えた方に】</p> <p>問6 台湾のどのような分野に興味がありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。 (複数回答可)</p>	<p>1 自然・風土 2 政治・経済 3 食文化 4 歴史・史跡・寺廟 5 伝統行事(ランタンフェスティバルなど) 6 ショッピング 7 美容・医療(漢方・鍼灸を含む) 8 ポップカルチャー(音楽、ドラマ、映画、マンガ) 9 鉄道・交通 10 先住民族文化・客家文化 11 その他</p>
<p>問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 親しみを感じる 2 どちらかというと親しみを感じる 3 どちらともいえない 4 どちらかというと親しみを感じない 5 親しみを感じない</p>
<p>【問7で「1親しみを感じる」「2どちらかという」と親しみを感じる」と答えた方に】</p> <p>問8 親しみを感じる理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1 台湾人が親切、友好的 2 経済的な結びつきが強い 3 文化面での共通性がある 4 歴史的に交流が長い 5 東日本大震災時に支援を行ったから 6 台湾製の商品を愛用しているから 7 漢字を使っているから 8 日本語が話せる台湾人が多いから 9 その他</p>

質問	選択肢
<p>【問7で「4どちらか」というと親しみを感じない」「5親しみを感じない」と答えた方に】</p> <p>問9 親しみを感じない理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 漁業問題</li> <li>2 経済面での競合関係</li> <li>3 領土問題</li> <li>4 歴史問題</li> <li>5 台湾人の日本での犯罪問題</li> <li>6 台湾人観光客のマナーの問題</li> <li>7 台湾についての知識や関心がない</li> <li>8 その他</li> </ol>
<p>問10 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。 (複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テレビ</li> <li>2 インターネット（ニュースサイト、YouTube、ブログなど、但しSNSを除く）</li> <li>3 SNS（LINE、Twitter、Facebook、Instagramなど）</li> <li>4 新聞・雑誌・書籍</li> <li>5 訪台経験</li> <li>6 家族・親戚</li> <li>7 台湾の友人・知人</li> <li>8 日本の友人・知人</li> <li>9 学校教育</li> <li>10 日本での台湾関連の各種イベント</li> <li>11 旅行会社</li> <li>12 その他</li> </ol>
<p>【問10で「1テレビ」と答えた方に】</p> <p>問10付問 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。 (複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ニュース</li> <li>2 情報番組（ワイドショー）</li> <li>3 バラエティー</li> <li>4 世界各地を紹介する番組</li> <li>5 台湾を紹介する番組</li> <li>6 台湾のドラマ・映画</li> <li>7 スポーツ</li> <li>8 その他</li> </ol>
<p>問11 あなたは、台湾は信頼できると考えますか。 (答えは1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 非常に信頼できる</li> <li>2 信頼できる</li> <li>3 どちらともいえない</li> <li>4 信頼できない</li> <li>5 非常に信頼できない</li> </ol>
<p>【問11で「1非常に信頼できる」「2信頼できる」と答えた方に】</p> <p>問12 信頼できる理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自由・民主主義などの価値観を有している</li> <li>2 平和な国だから</li> <li>3 経済・貿易パートナーだから</li> <li>4 台湾政府の安全保障政策</li> <li>5 豊かな伝統文化があるから</li> <li>6 地理的な近さ</li> <li>7 歴史的なつながり</li> <li>8 日本に友好的だから</li> <li>9 その他</li> </ol>

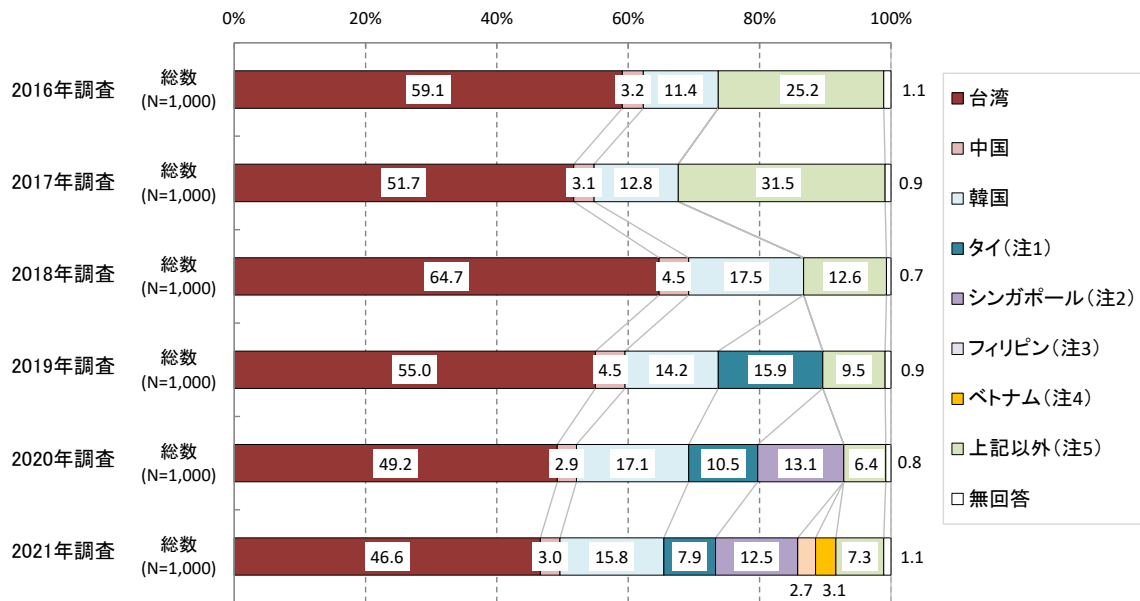


質問	選択肢
<p>【問 11 で「4 信頼できない」「5 非常に信頼できない」と答えた方に】</p> <p>問 13 信頼できない理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 知的財産権問題 6 その他</p>
<p>問 14 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 知っている 2 聞いたことはあるが、あまり知らない 3 知らない</p>
<p>問 15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 よい 2 どちらかといえばよい 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば悪い 5 悪い</p>
<p>問 16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 発展する 2 ある程度発展する 3 変わらない 4 ある程度悪化する 5 悪化する 6 わからない</p>
<p>問 17 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思えるのはどれですか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 知的財産権問題 6 台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響 7 台湾が福島周辺県の食品の輸入を制限している問題 8 その他 9 ない</p>
<p>問 18 今年3月、中国が台湾産パイナップルの輸入を禁止しましたが、これをきっかけに台湾産パイナップルの日本での販売が拡大するなど、台湾産の果物が話題になっています。台湾産の果物の中で、あなたはどれに興味がありますか。 (複数回答可)</p>	<p>1 バナナ 2 マンゴー 3 パイナップル 4 ライチ 5 ポンカン（椪柑） 6 パパイヤ 7 ドラゴンフルーツ 8 台湾ナツメ 9 ボンタン（文旦） 10 バンレイシ（釈迦頭） 11 レンブ（蓮霧） 12 グアバ（芭楽） 13 その他</p>

質問	選択肢
<p>問 19 近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っており、新型コロナウイルス感染症に関しても、ワクチンや医療器材、マスク等の提供を相互に行うなど協力し合っています。また、政府のトップも Facebook やツイッター等の SNS を通じて双方の国民に向けたお見舞いや励まし、感謝の言葉を寄せています。あなたは、このことを知っていましたか。</p> <p style="text-align: right;">(答えは1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 知っていた</li> <li>2 聞いたことはある程度</li> <li>3 知らなかった</li> </ol>
<p>問 20 今年は、テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌またはネットニュースなどで台湾に関する報道を見たことがありますか。</p> <p style="text-align: right;">(答えは1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 よく見る</li> <li>2 ときどき見る</li> <li>3 あまり見たことがない</li> <li>4 まったく見たことがない</li> </ol>
<p><b>【問 20 で「1 よく見る」「2 ときどき見る」と答えた方に】</b></p> <p>問 20 付問 あなたは、どのような報道が強く印象に残りましたか。</p> <p style="text-align: right;">(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 台湾海峡情勢</li> <li>2 日本政府が台湾にワクチンを提供</li> <li>3 台湾の半導体産業に関する動向</li> <li>4 台湾の TPP (環太平洋経済連携協定) への加盟申請</li> <li>5 東京オリンピック・パラリンピックにおける台湾選手のパフォーマンス</li> <li>6 台湾の民主化と人権への取り組み</li> <li>7 台湾の観光や文化を紹介するもの</li> <li>8 台湾のグルメ</li> <li>9 その他</li> </ol>
<p>問 21 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思えますか。</p> <p style="text-align: right;">(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 観光</li> <li>2 経済</li> <li>3 文化</li> <li>4 青少年交流</li> <li>5 政治、安全保障</li> <li>6 地方交流</li> <li>7 防災・災害救助訓練の交流</li> <li>8 その他</li> </ol>
<p>問 22 今年9月23日、台湾は TPP (環太平洋経済連携協定) への加盟を正式に申請したと発表しました。台湾は TPP への加盟に向けて何年も準備し、加盟に求められる高い基準を満たしていると確信しています。また、加盟が実現すれば貿易だけではなく日本との産業連携の向上にも寄与すると主張しています。あなたは、このような台湾の TPP 加盟への努力や主張を評価しますか。</p> <p style="text-align: right;">(答えは1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 評価する</li> <li>2 評価しない</li> <li>3 分からない</li> </ol>

◎ 主要質問時系列グラフ（2016年調査～2021年調査）

問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感ずるのはどこですか。（答えは1つ）



(注1) 2019年調査より選択肢を追加

(注2) 2020年調査より選択肢を追加

(注3) 2021年調査より選択肢を追加

(注4) 2021年調査より選択肢を追加

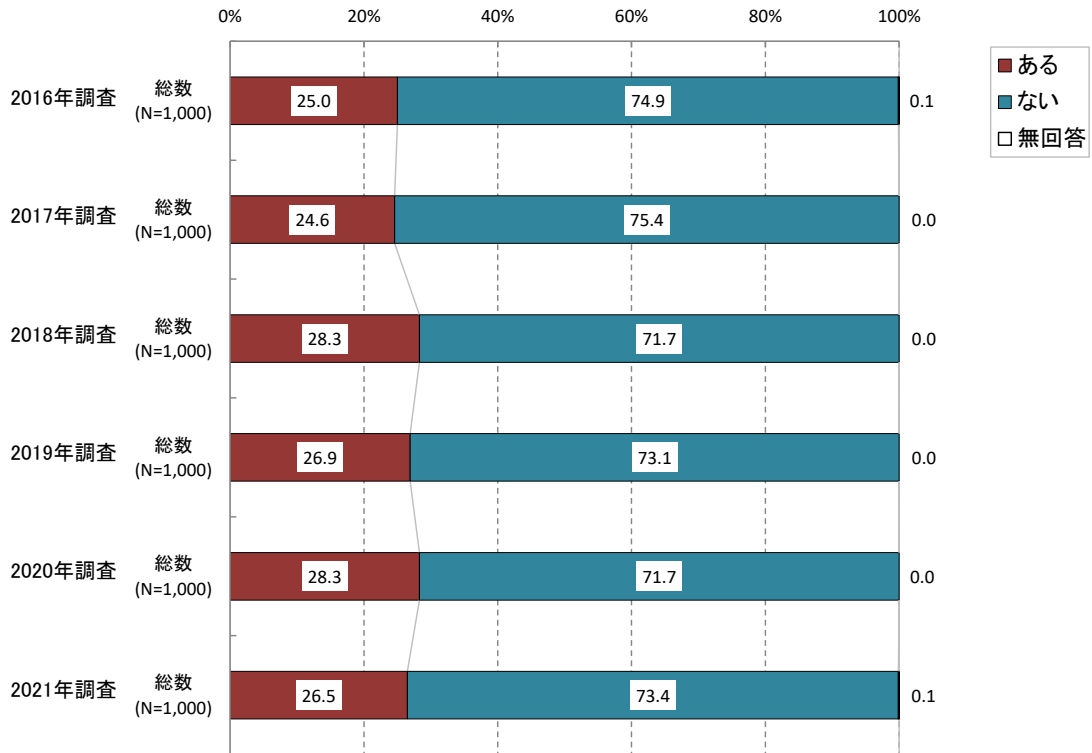
(注5) 2016年～2018年：上記（台湾・中国・韓国）以外

2019年：上記（台湾・中国・韓国・タイ）以外

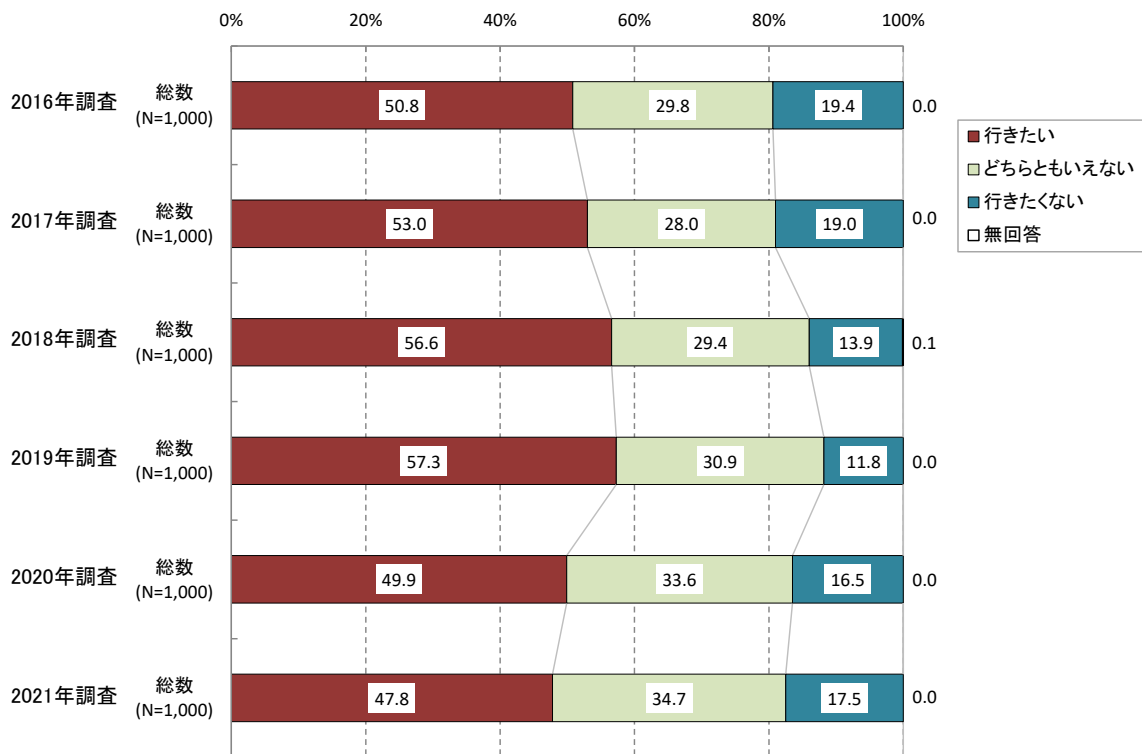
2020年：上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール）以外

2021年：上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・フィリピン・ベトナム）以外

問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。(答えは1つ)

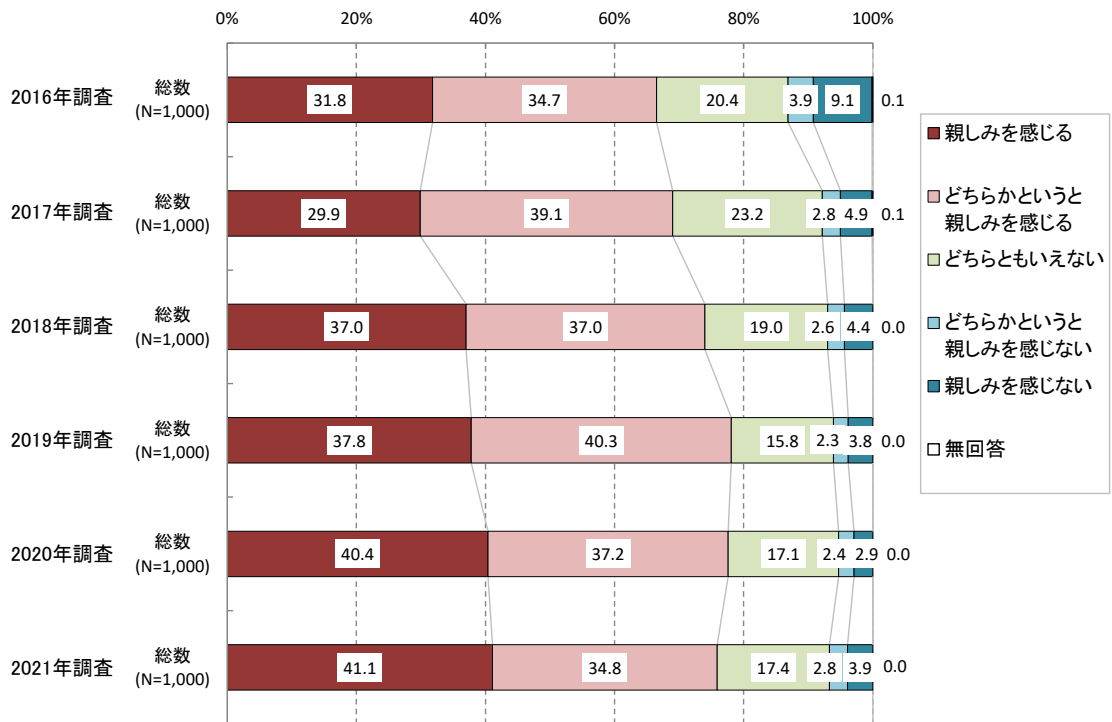


問5 今後台湾に行きたいですか。(答えは1つ)

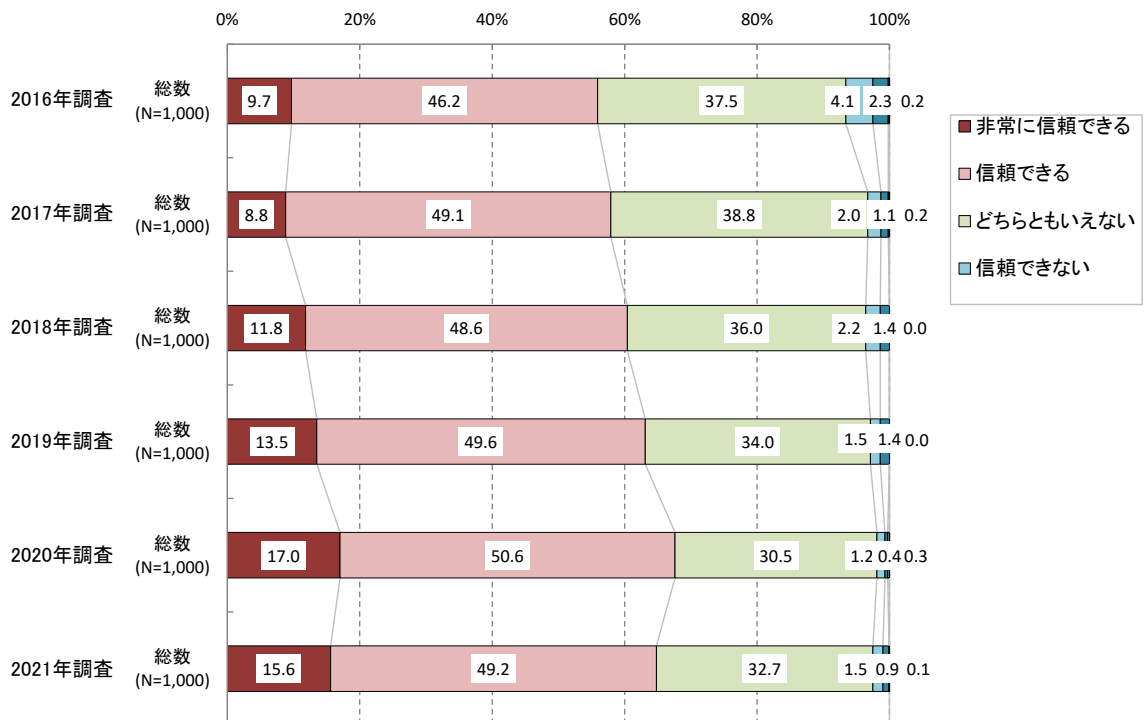


(注) 2020年～2021年調査では、「今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、あなたは台湾に行きたいですか。」と質問した。

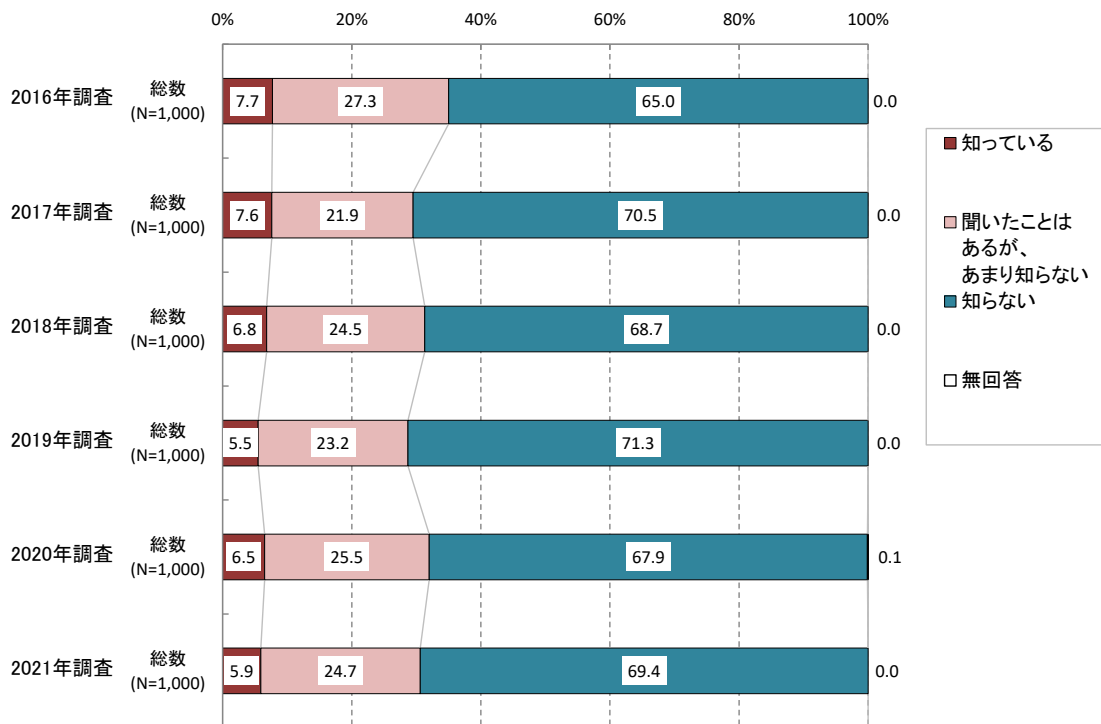
問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)



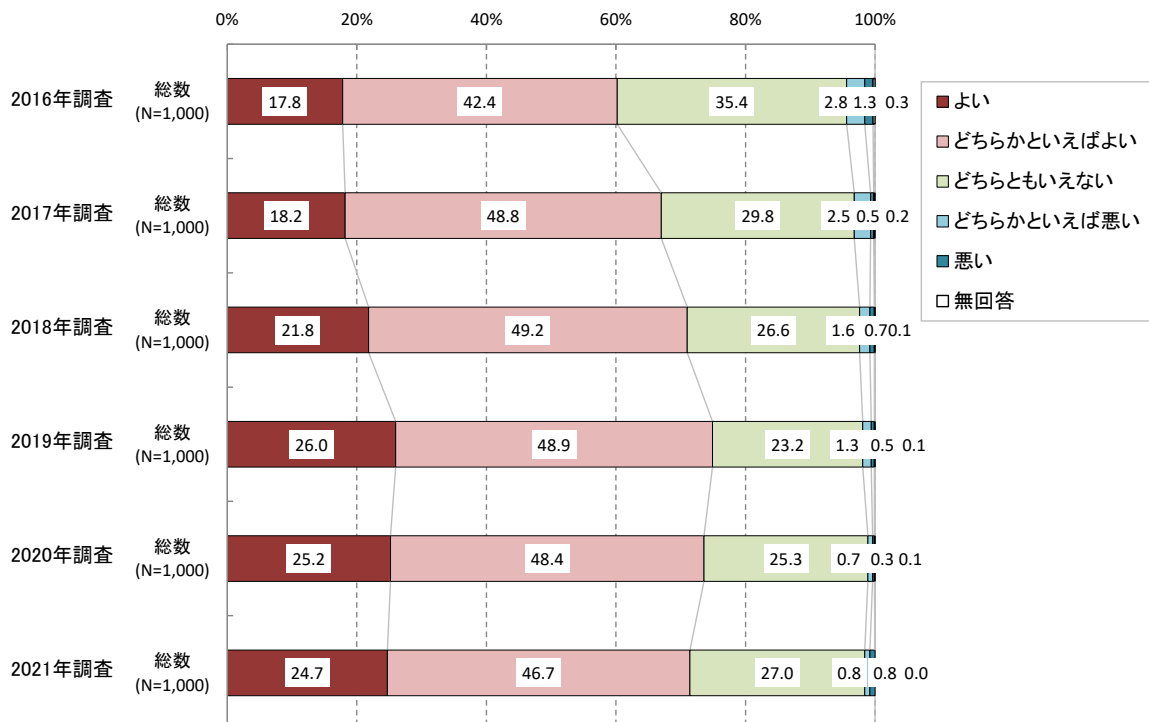
問11 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



問 1 4 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)



問 1 5 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



問16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。(答えは1つ)

